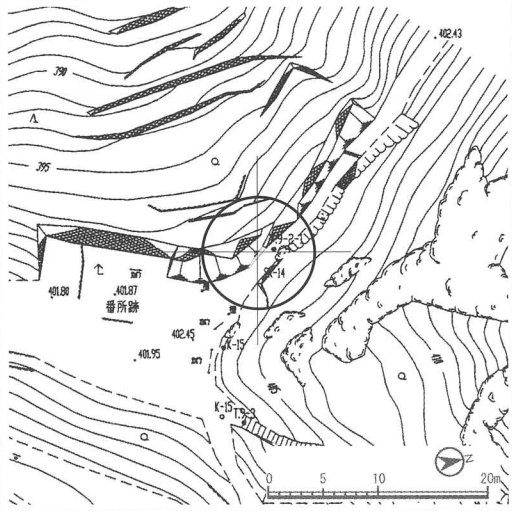
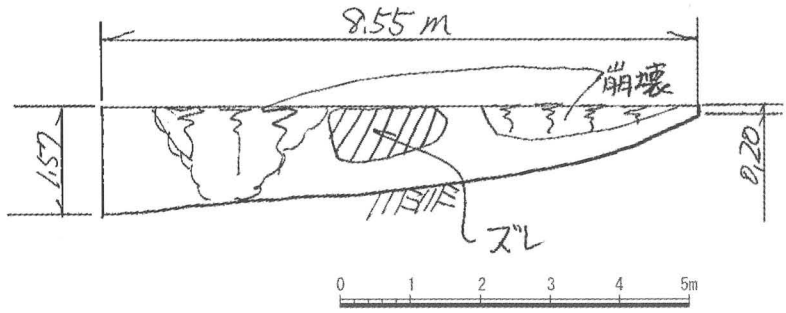
石垣番号	ai_067	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 8.55		下端 8.55		
石垣高さ	左 1.57		右 0.12		
	最高 1.57	最高点位置			
石垣勾配	左 0.53		右 0.00		
	最高地点 0.53				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材多用。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

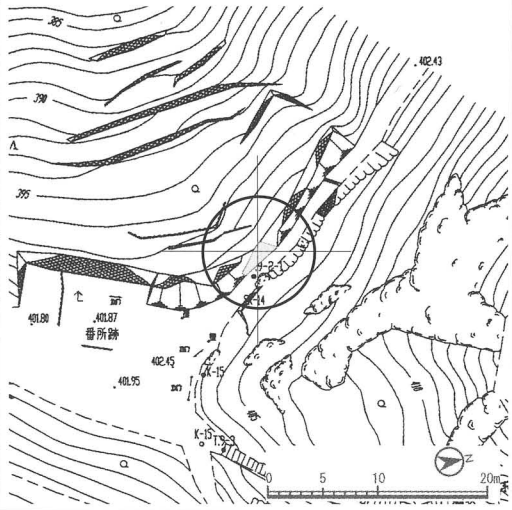


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



全景写真１

石垣番号	ai_068	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(ai_067)			
	左	すり付け(ai_069)			
石垣延長	天端 6.10		下端 6.10		
石垣高さ	左 0.90		右 1.57		
	最高 1.57	最高点位置			
石垣勾配	左 0.35		右 0.53		
	最高地点 0.53				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	比較的小石材使用。				

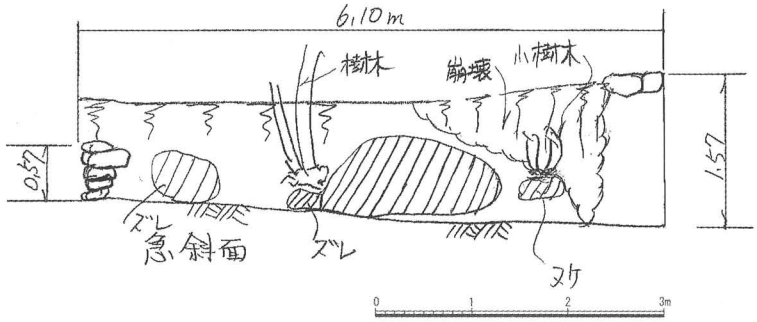


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

・石垣面の樹木の影響などにより、ヌケがみられる。

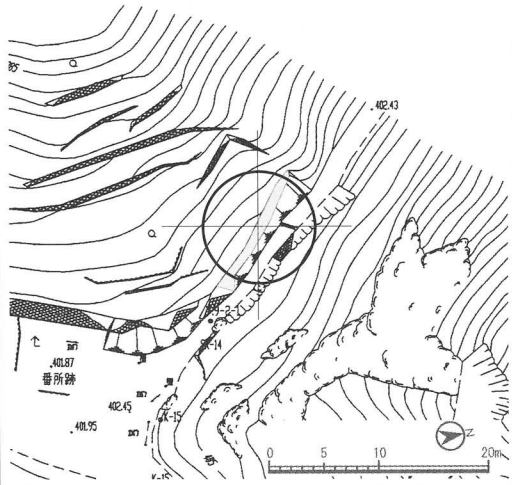
略図



全景写真1

石垣番号	ai_069	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.60		下端 6.60		
石垣高さ	左 1.05		右 0.90		
	最高 1.80	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.35		
	最高地点 0.50				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ヌケ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	左隅角部のズレが顕著である。				

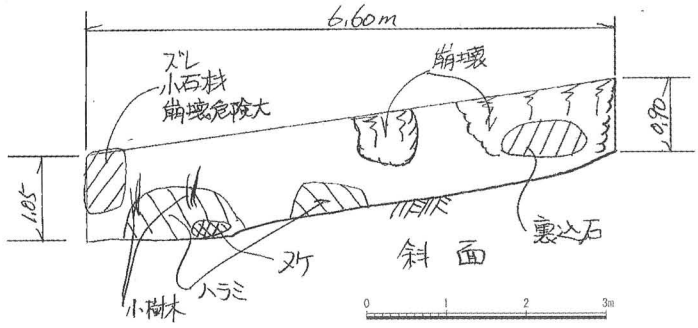
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、小ハラミ、部分崩壊がみられる。
- 小石材で築いたことなどにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

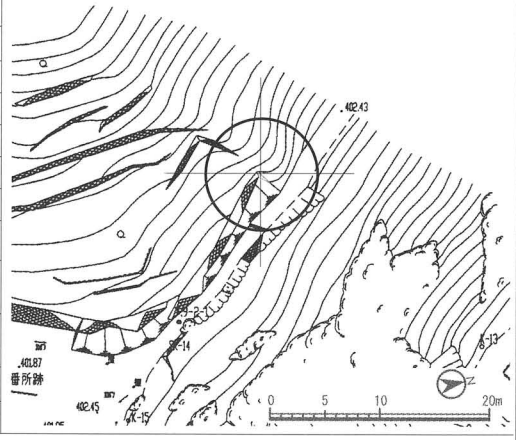
略図



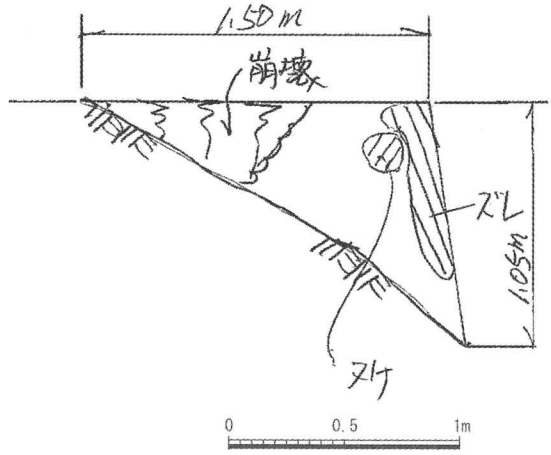
全景写真1

石垣番号	ai_070	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け(ai_069斜面)			
石垣延長	天端 1.50		下端 1.65		
石垣高さ	左 0.00		右 1.05		
	最高 1.05	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	間詰石のヌケあり。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



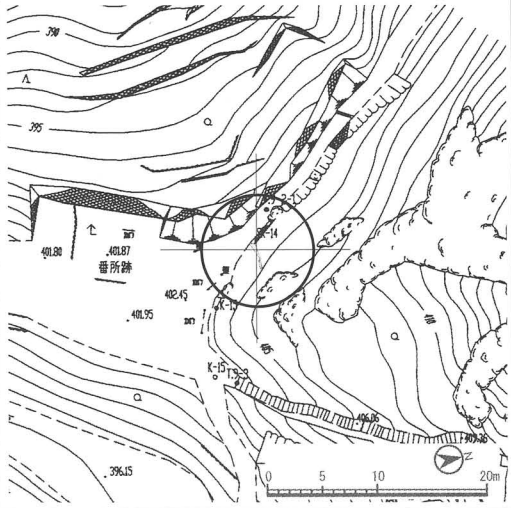
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。 ・小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。	



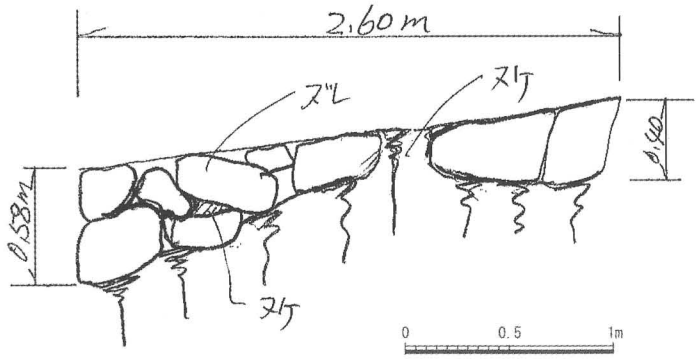
全景写真1

石垣番号	ai_071	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.60		下端 2.60		
石垣高さ	左 0.58		右 0.40		
	最高 0.58	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.00		
	最高地点 0.05				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	大きめの石材。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



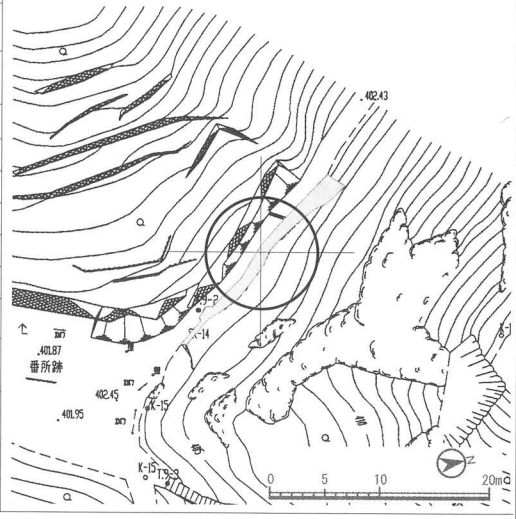
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。	



全景写真1

石垣番号	ai_072	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	出角			
	左	(終点の状況が不明)			
石垣延長	天端 22.5		下端 22.5		
石垣高さ	左 0.60		右 0.58		
	最高 1.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.05		
	最高地点 0.20				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	露岩を取り込んでいる。破損が顕著。				

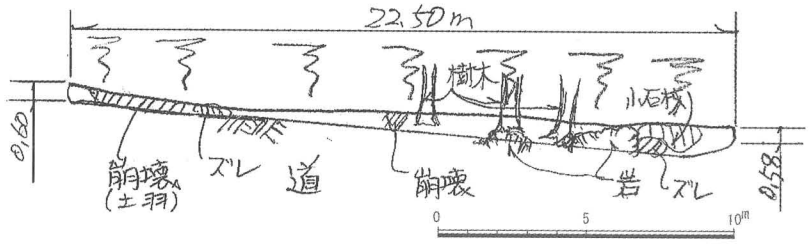
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

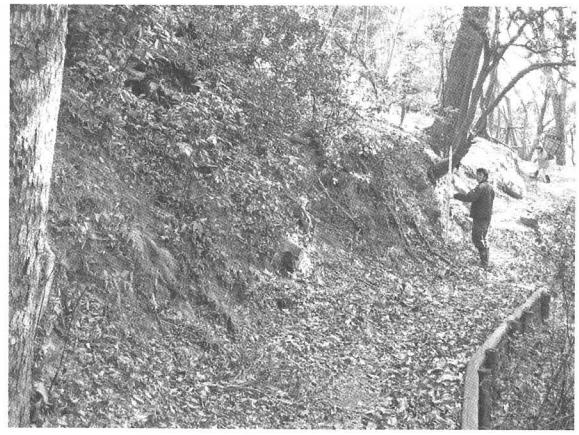
- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。
- 露岩と築石面の不整合などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。
- 小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。

略図



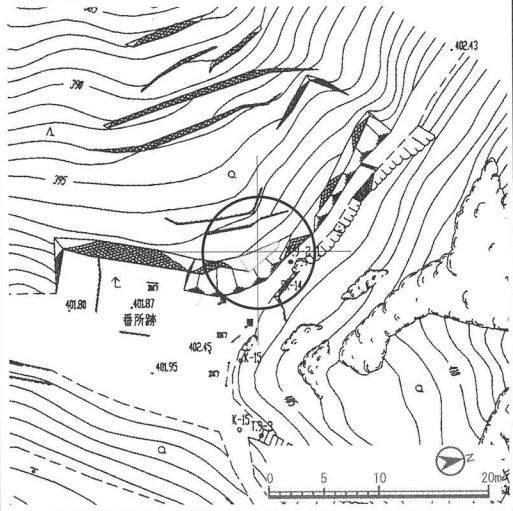
全景写真1

全景写真2



石垣番号	ai_073	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位					
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 3.60		下端 3.60		
石垣高さ	左 0.90		右 0.20		
	最高 0.90	最高点位置			
石垣勾配	左 0.40		右 0.00		
	最高地点 0.40				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材。				

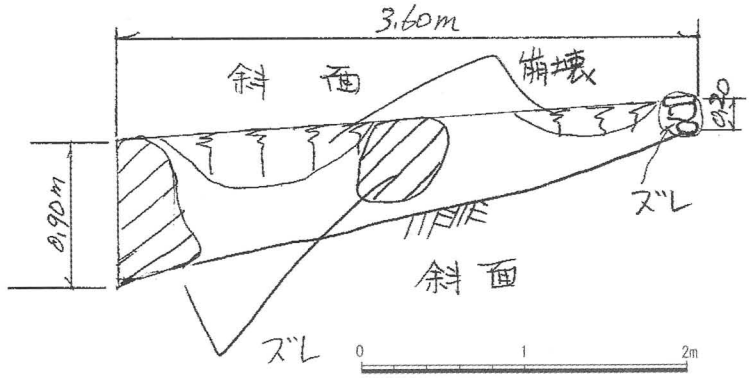
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



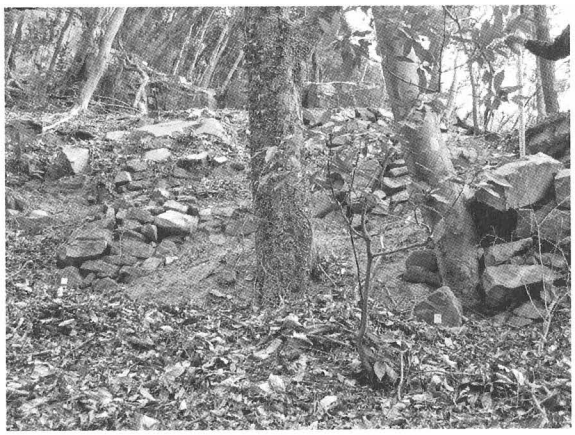
破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

略図

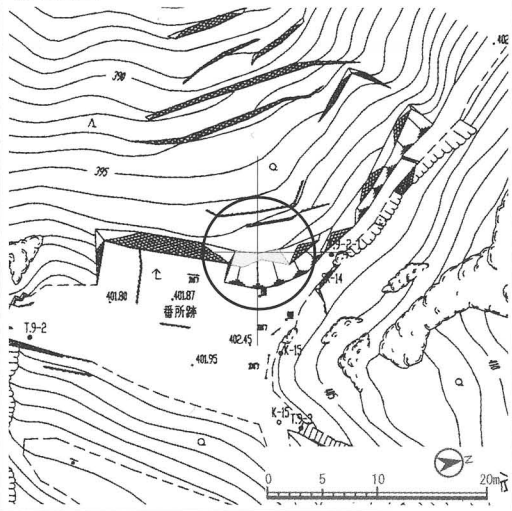


全景写真1



全景写真2

石垣番号	ai_074	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.90		下端 1.90		
石垣高さ	左 0.26		右 0.10		
	最高 1.04	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体的にズレがみられる。				

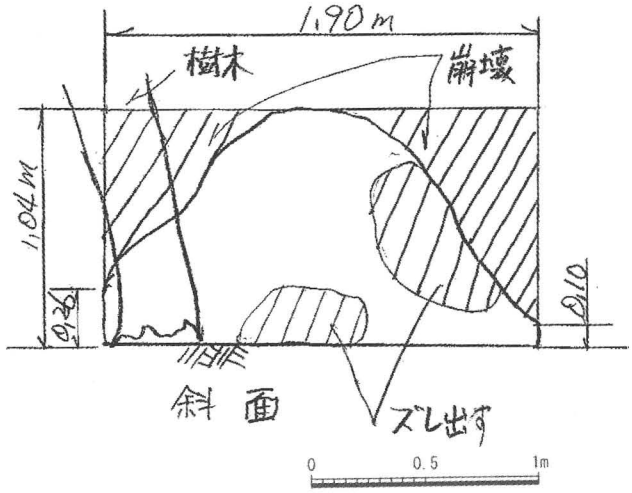


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

・石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。

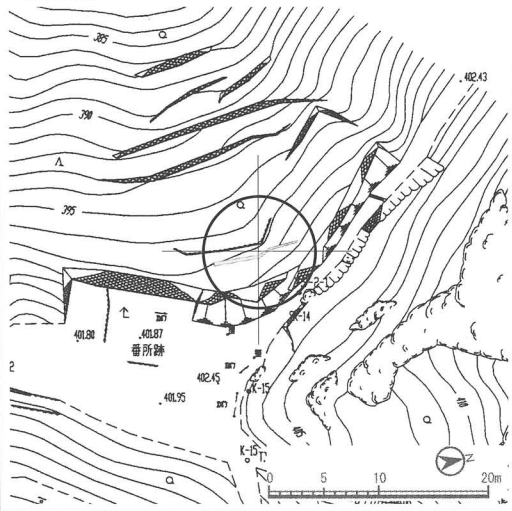
略図



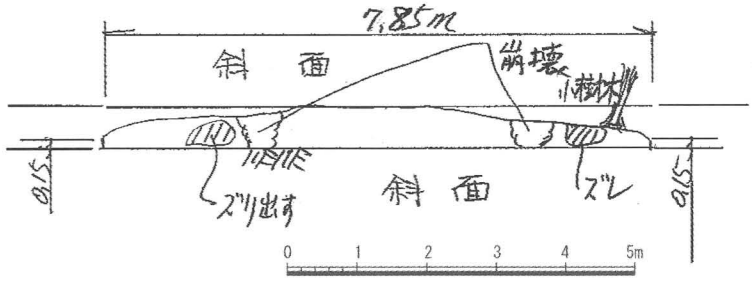
全景写真1

石垣番号	ai_075	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.85		下端 7.85		
石垣高さ	左 0.15		右 0.15		
	最高 0.60	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

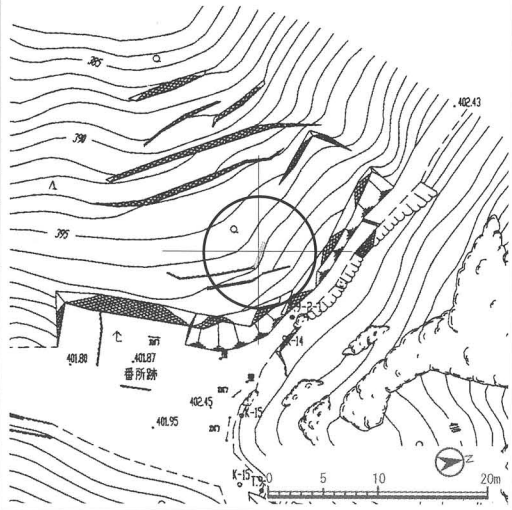


全景写真1

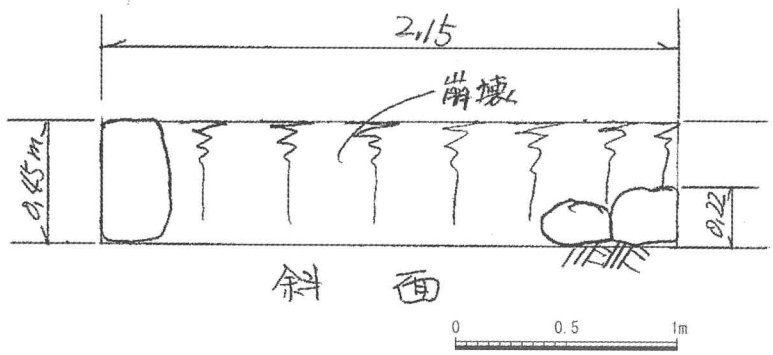
全景写真2

石垣番号	ai_076	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け(ai_077)			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 2.15		下端 2.15		
石垣高さ	左 0.45		右 0.22		
	最高 0.45	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	その他(不明)				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	数石残るのみ。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



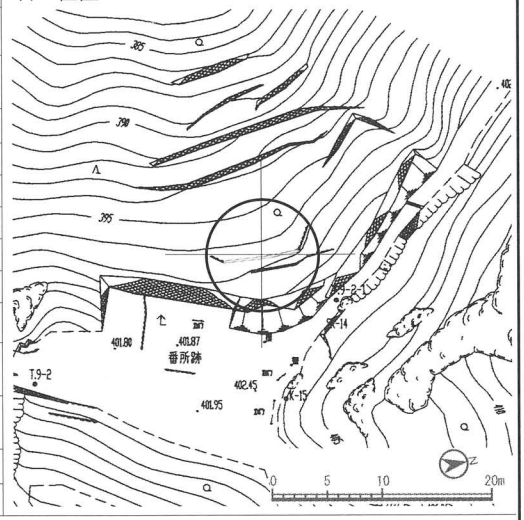
破損の要因と破損状況	略図
・全壊している。	



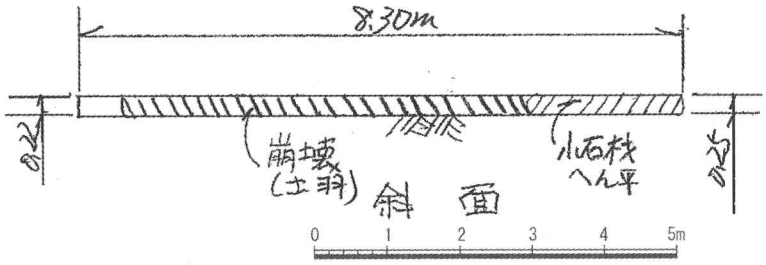
全景写真1

石垣番号	ai_077	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右				
	左	すり付け(ai_076)			
石垣延長	天端 8.30		下端 8.30		
石垣高さ	左 0.22		右 0.25		
	最高 0.25	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	ぐり石状の小石材使用。崩落多い。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・小石材で築いたことなどにより、部分崩壊がみられる。	

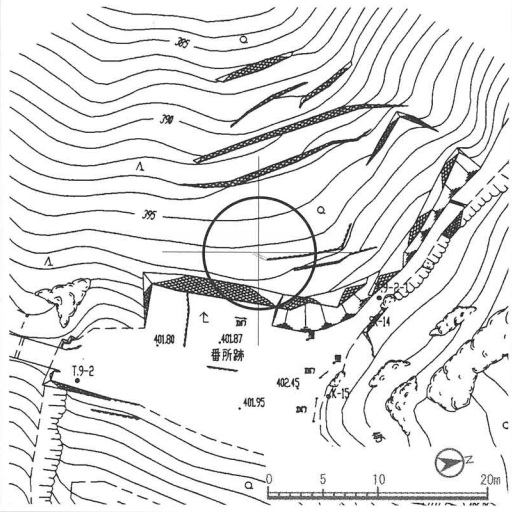


全景写真１

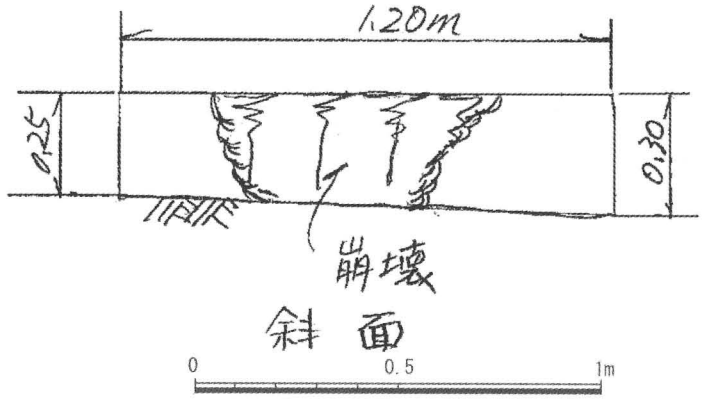
全景写真２

石垣番号	ai_078	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け(ai_077)			
石垣延長	天端 1.20		下端 1.20		
石垣高さ	左 0.25		右 0.30		
	最高 0.30	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	ぐり石状の小石材。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



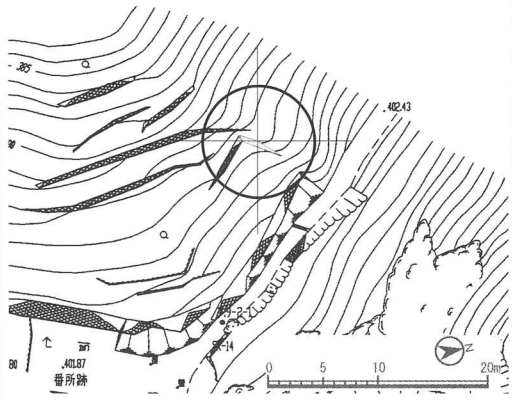
破損の要因と破損状況	略図
・小石材で築いたことなどにより、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

石垣番号	ai_079	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 3.70		下端 3.70		
石垣高さ	左 0.35		右 1.15		
	最高 1.15	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	樹木周辺ズレ多い。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

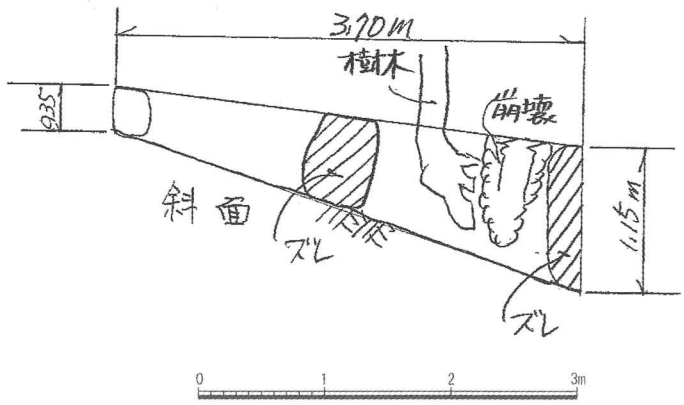


破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

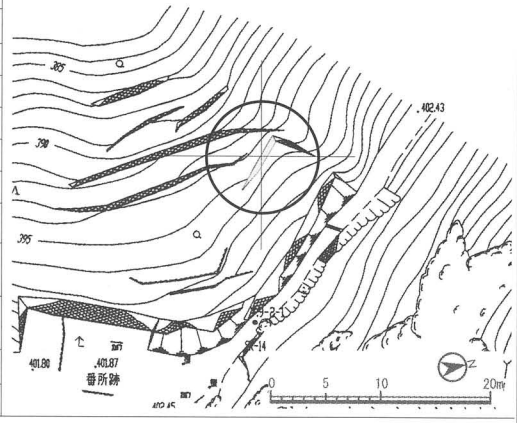
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

略図

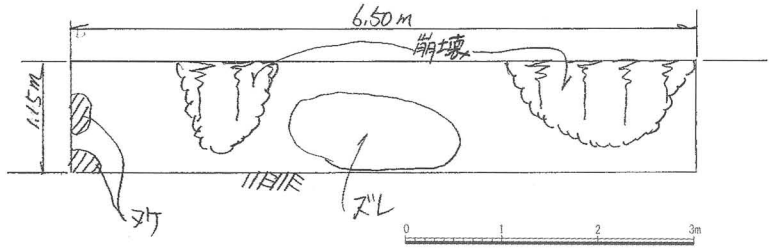


全景写真1

石垣番号	ai_080	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(土羽)			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.50		下端 6.50		
石垣高さ	左 1.15		右 0.05		
	最高 1.15	最高点位置			
石垣勾配	左 0.25		右 0.00		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小方形の石材。				



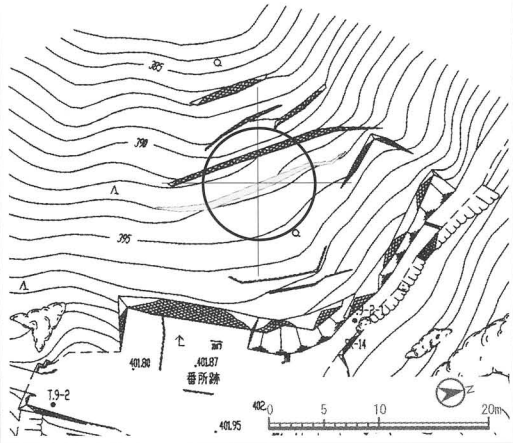
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケがみられる。 ・小石材で築いたことなどにより、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

石垣番号	ai_081	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 20.3		下端 20.3		
石垣高さ	左 0.20		右 0.70		
	最高 1.26	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.40				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ハラミ・ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	全体的に小石材。				

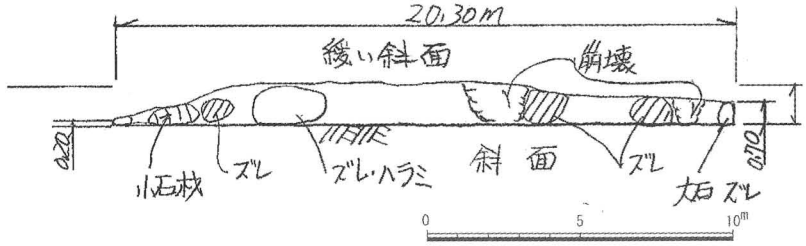
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ハラミ、部分崩壊がみられる。
- 小石材の影響などにより隣接する石垣に、ズレがみられる。

略図

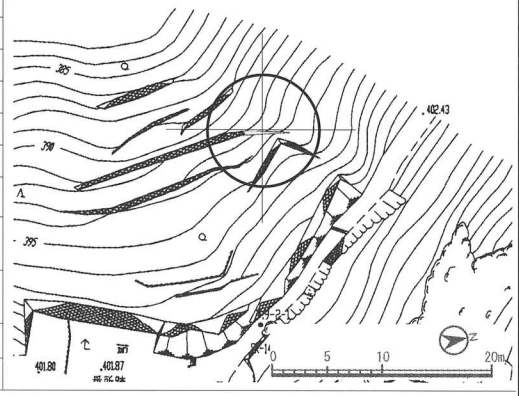


全景写真1

全景写真2

石垣番号	ai_082	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	出角(ai_083)			
	左	すり付け(地盤)			
石垣延長	天端 6.60		下端 6.60		
石垣高さ	左 0.22		右 1.40		
	最高 1.40	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	小石材。				

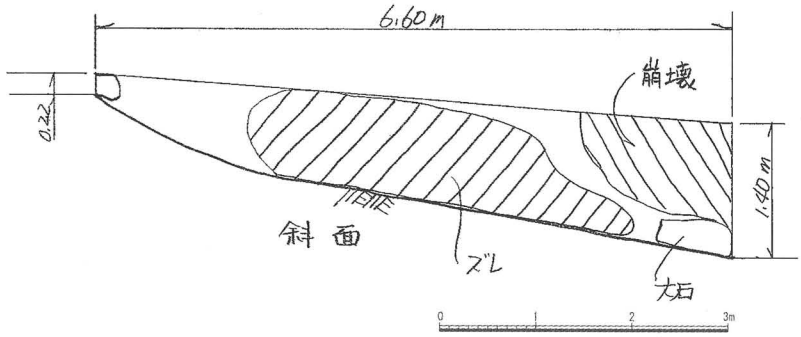
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。

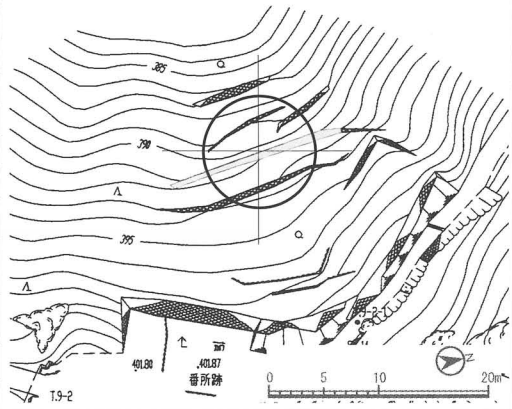
略図



全景写真1

全景写真2

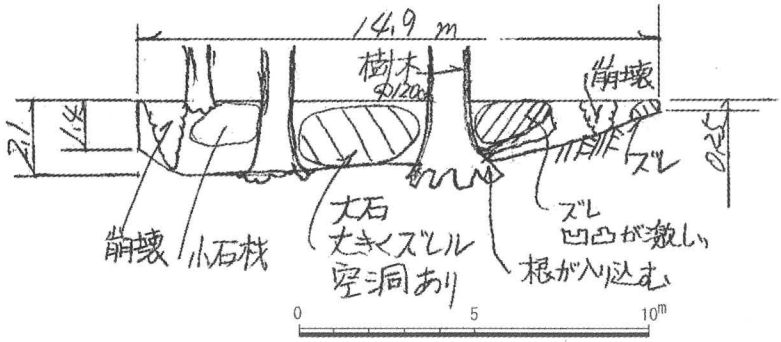
石垣番号	ai_083	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け(地盤)			
	左	すり付け(ai_082)			
石垣延長	天端 14.90		下端 14.90		
石垣高さ	左 1.40		右 0.25		
	最高 2.10	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.29				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	一部樹木により崩壊。				



破損の要因と破損状況

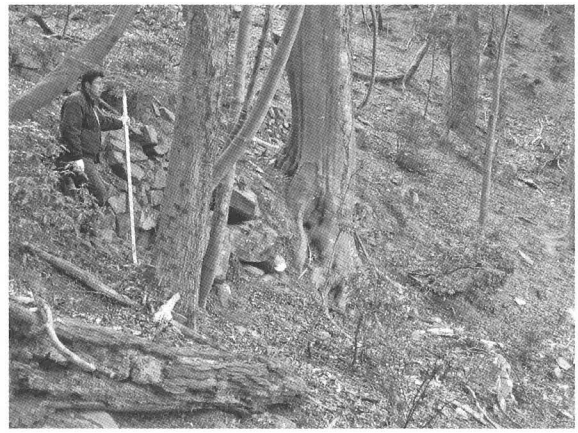
- 施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。
- 石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。
- 小石材の影響などにより隣接する石垣に、部分崩壊がみられる。
- 大石の影響などにより、ズレがみられる。

略図

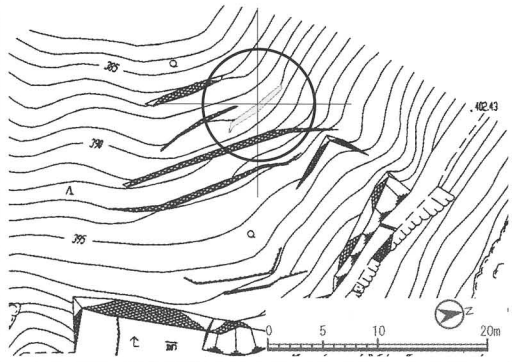


全景写真1

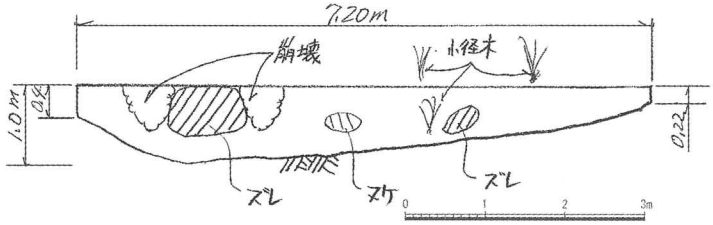
全景写真2



石垣番号	ai_084	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け(地盤)			
石垣延長	天端 7.20		下端 7.20		
石垣高さ	左 0.40		右 0.22		
	最高 1.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	樹木が多い。				



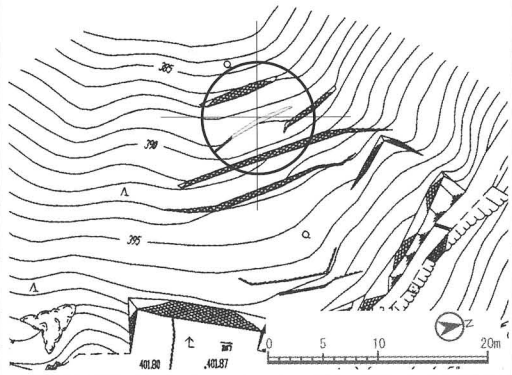
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ヌケ、部分崩壊がみられる。	



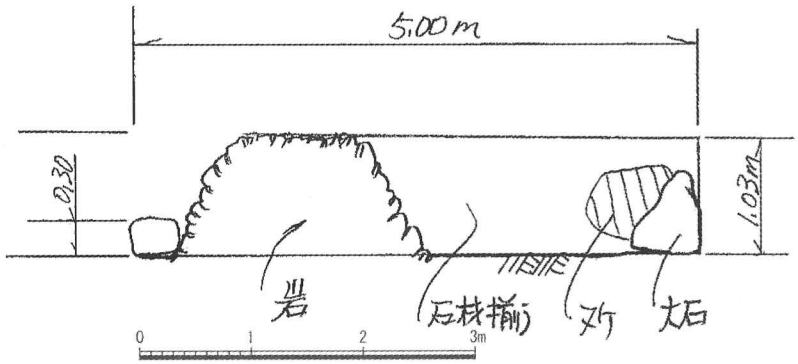
全景写真1

全景写真2

石垣番号	ai_085	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 5.00		下端 5.00		
石垣高さ	左 0.30		右 1.03		
	最高 1.03	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.05		
	最高地点 0.05				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ヌケ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	露岩を取り込む。				

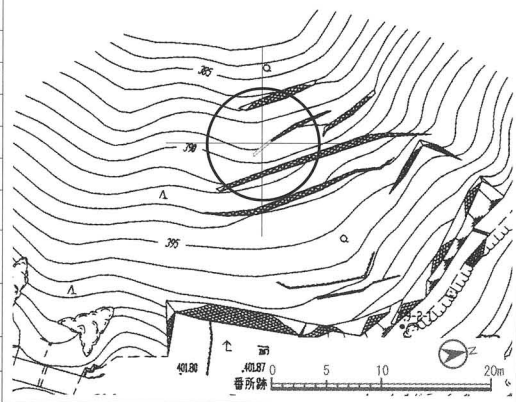


破損の要因と破損状況	略図
・大石の影響などにより、ヌケがみられる。	

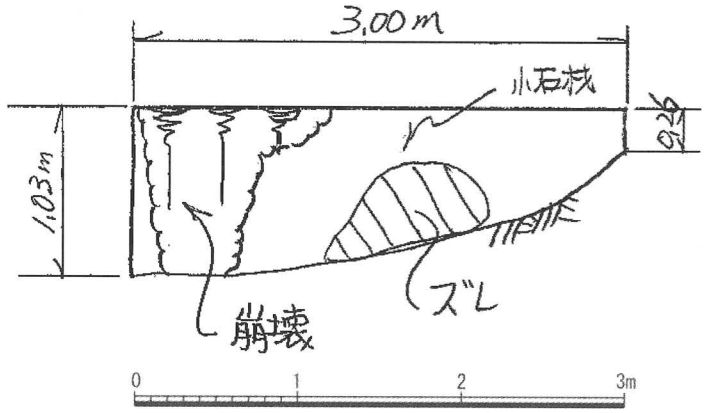


全景写真1

石垣番号	ai_086	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.00		下端 3.00		
石垣高さ	左 1.03		右 0.26		
	最高 1.03	最高点位置			
石垣勾配	左 0.05		右 0.00		
	最高地点 0.05				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材の多用。				

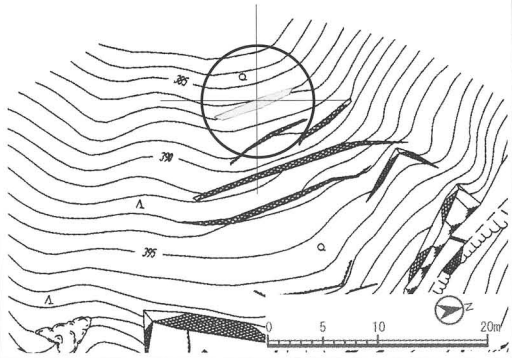


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	

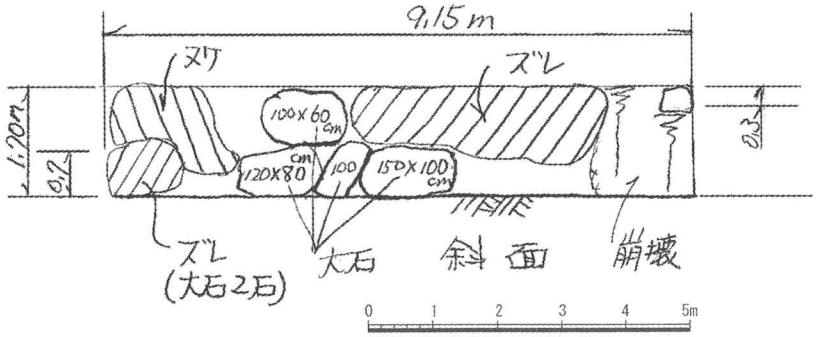


全景写真1

石垣番号	ai_087	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	犬走り			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 9.15		下端 9.15		
石垣高さ	左 0.70		右 0.30		
	最高 1.70	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	岩・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	大石を置いてその上に石材を積んでいる。				



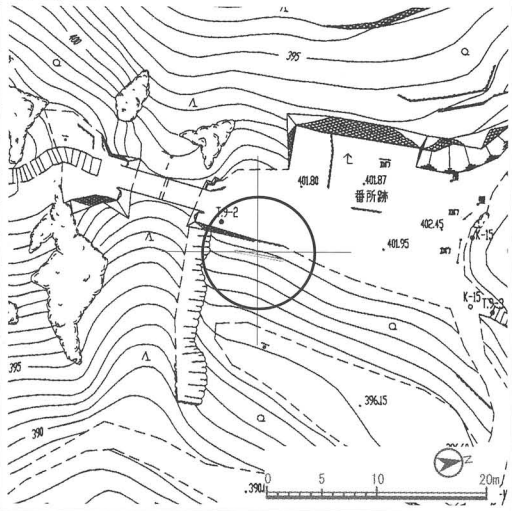
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケ、部分崩壊がみられる。 ・大石の影響などにより、ズレがみられる。	



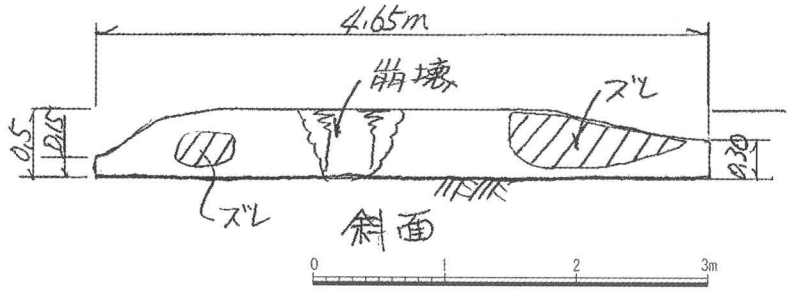
全景写真1

石垣番号	ai_088	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 4.65		下端 4.65		
石垣高さ	左 0.15		右 0.30		
	最高 0.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



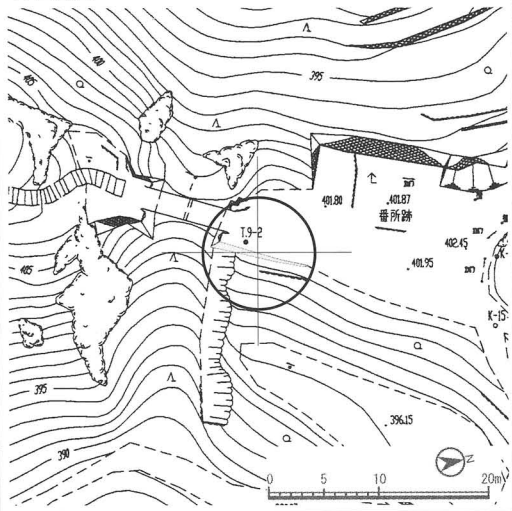
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、部分崩壊がみられる。	



全景写真1

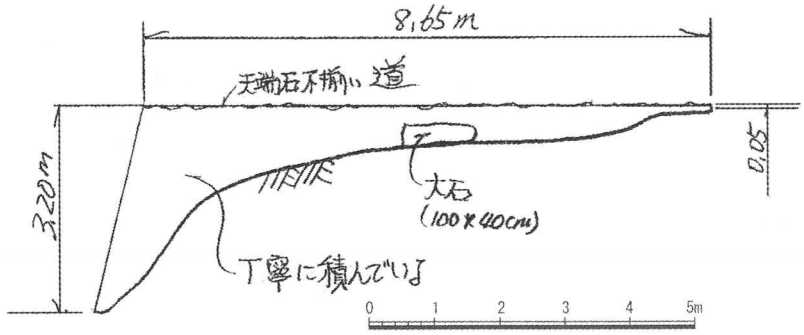
石垣番号	ai_089	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	道路				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.65		下端 9.40		
石垣高さ	左 3.20		右 0.05		
	最高 3.20	最高点位置			
石垣勾配	左 0.25		右 0.00		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	正方形に近い石材使用。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

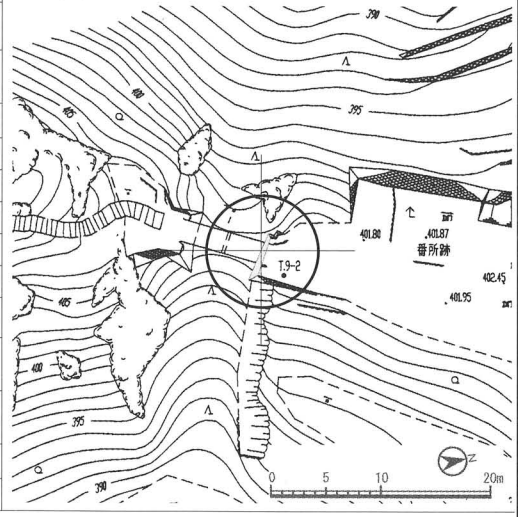


全景写真1

右変曲点

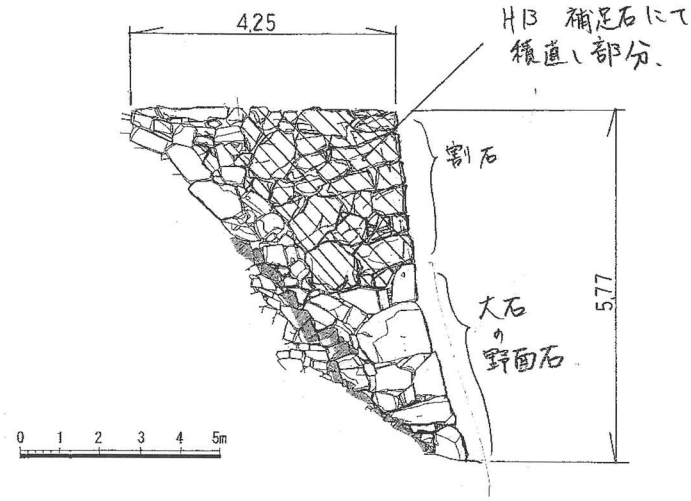
石垣番号	ai_090	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	その他(橋)				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 3.90		下端 4.80		
石垣高さ	左 1.60		右 3.00		
	最高 3.00	最高点位置			
石垣勾配	左 0.15		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	石材が揃っている。両角はやや大きめの正方形に近い石が多い。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



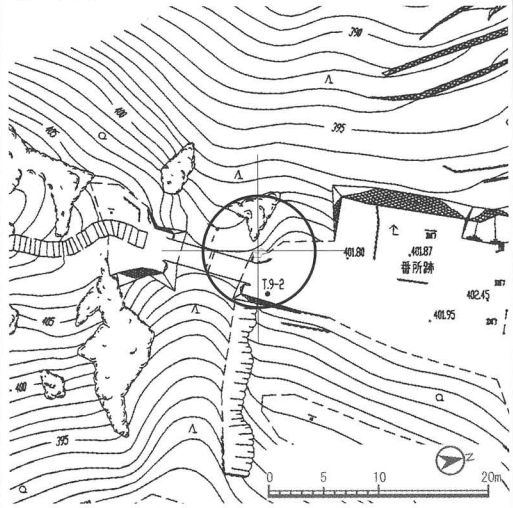
破損の要因と破損状況

略図



全景写真1

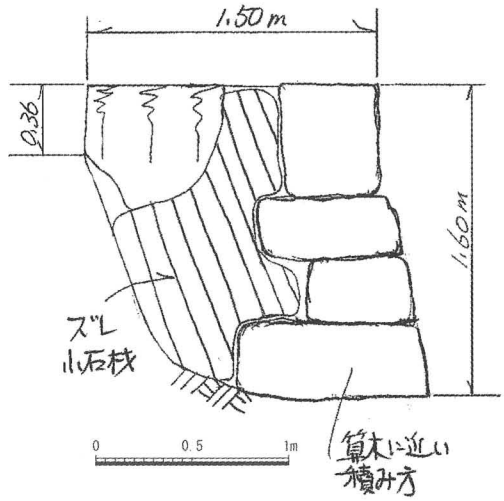
石垣番号	ai_091	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	道路			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.50		下端 1.40		
石垣高さ	左 0.36		右 1.60		
	最高 1.60	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ・部分崩壊				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材を使用。ズレがみられる。算木積（低）				



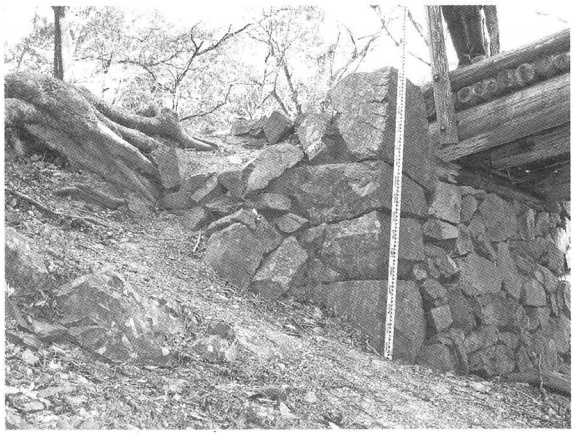
破損の要因と破損状況

- 施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。
- 小石材で築いたことなどにより、ズレがみられる。

略図

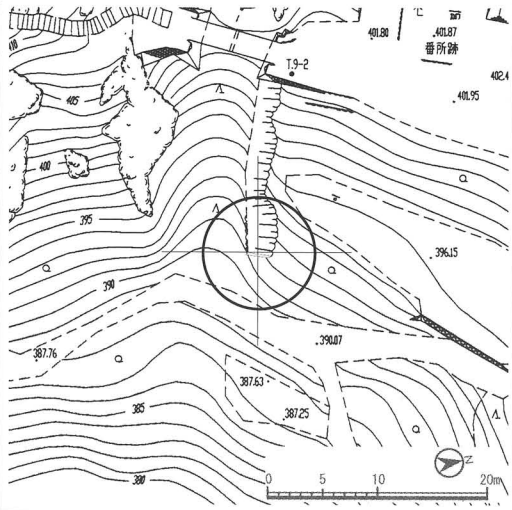


全景写真1

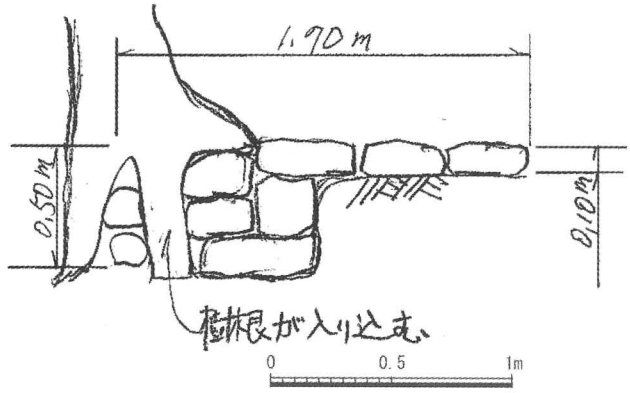


石垣番号	ai_092	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留				
角の形状	右	すり付け(地盤)			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.70		下端 1.70		
石垣高さ	左 0.00		右 0.10		
	最高 0.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	小石材。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

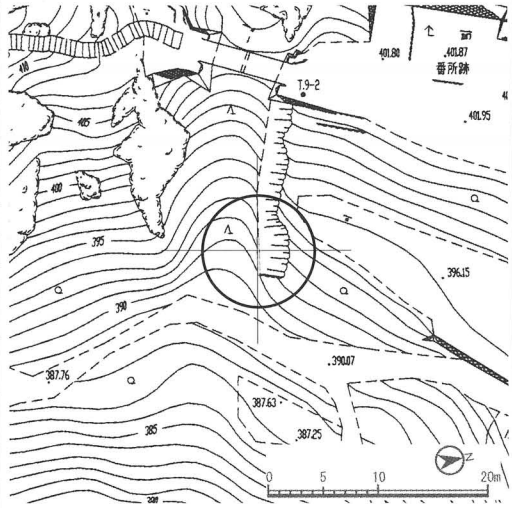


破損の要因と破損状況	略図
・石垣面の樹木の影響などにより、ズレがみられる。	



全景写真1

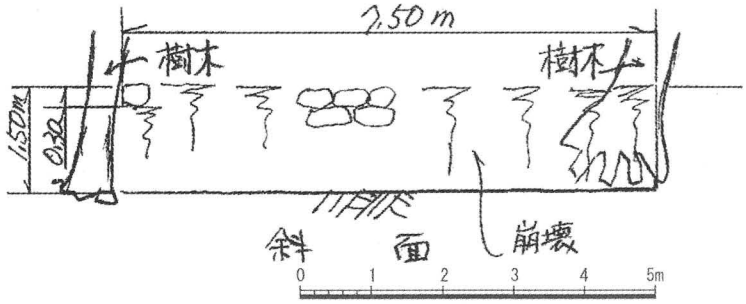
石垣番号	ai_093	地区名	相畑城戸跡	曲輪名	
石垣部位	土留			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.50		下端 7.50		
石垣高さ	左 0.30		右 0.00		
	最高 1.50	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.25				
地盤状況	斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	全壊				
構築年代					
危険度	全壊				
特記事項	数石残るのみ。				



破損の要因と破損状況

・全壊している。

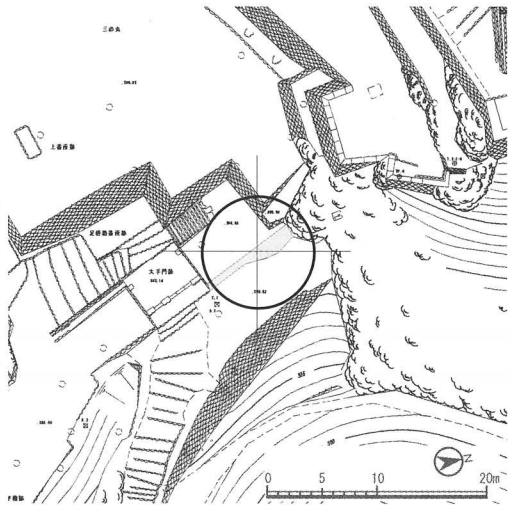
略図



全景写真1

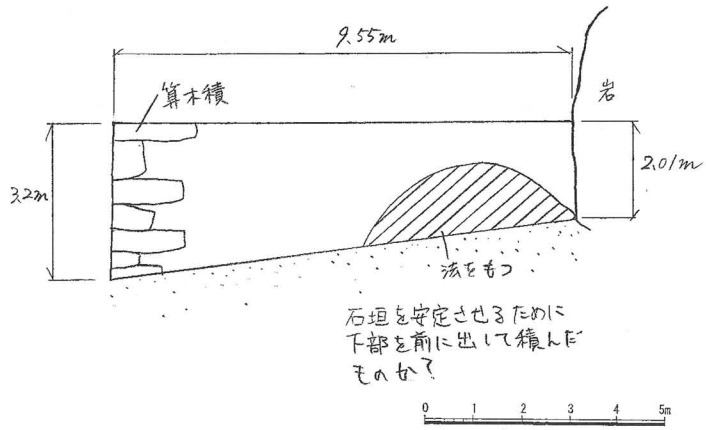
石垣番号	km_001	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	門・郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 9.55		下端 9.75		
石垣高さ	左 3.20		右 2.01		
	最高 3.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.10		右 0.68		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。谷積あり。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

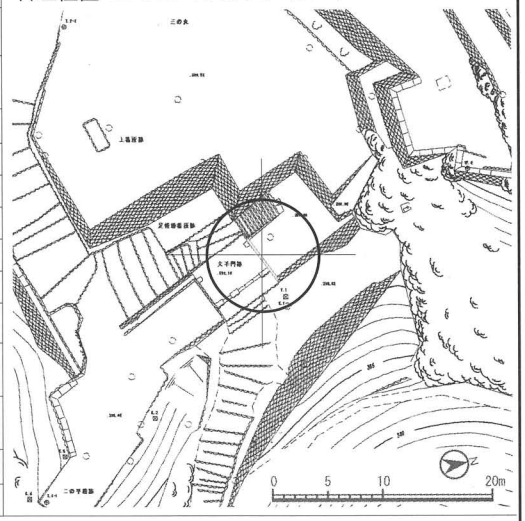


全景写真1

左変曲点

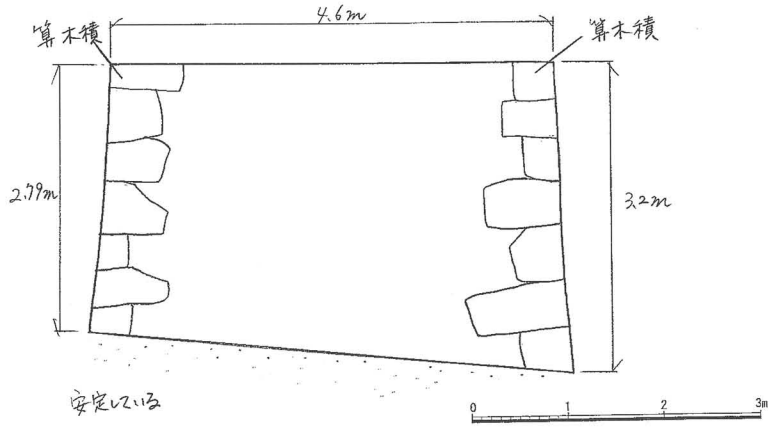
石垣番号	km_002	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位					
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.60		下端 5.00		
石垣高さ	左 2.79		右 3.20		
	最高 3.20		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.15		右 0.10		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

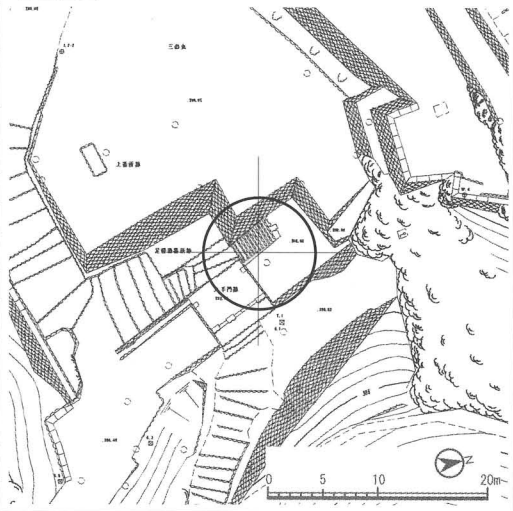


全景写真1

全景写真2

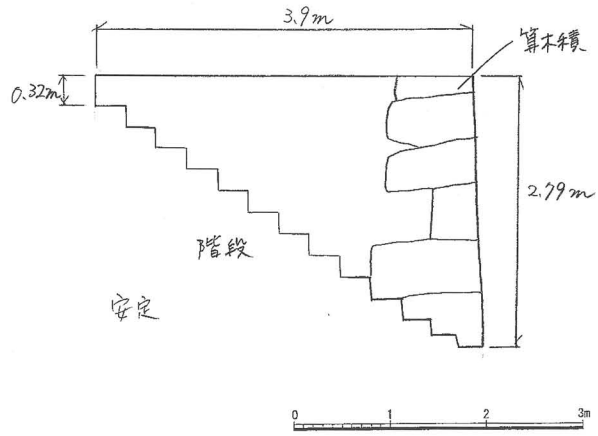
石垣番号	km_003	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	門				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 3.90		下端 4.75		
石垣高さ	左 0.32		右 2.79		
	最高 2.79		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	石段				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

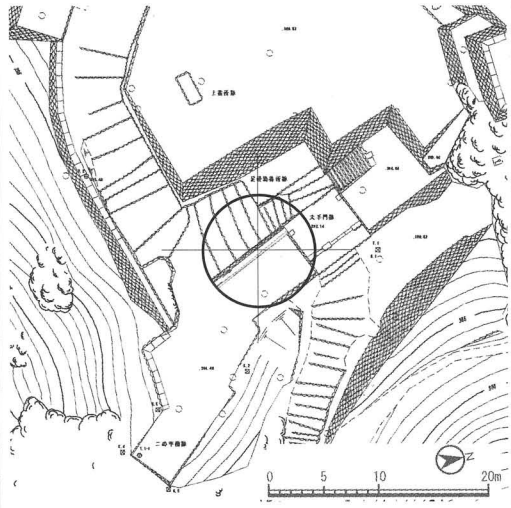
略図



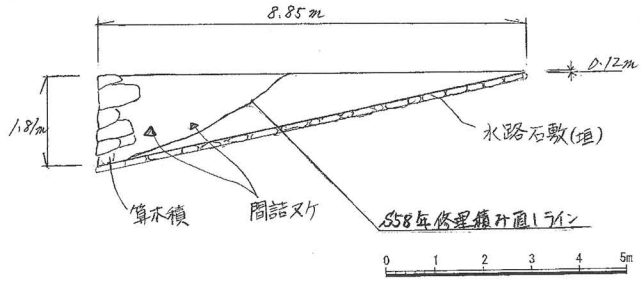
全景写真1

石垣番号	km_004	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	門				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 8.85		下端 9.00		
石垣高さ	左 1.81		右 0.12		
	最高 1.81		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.10		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	平坦面・石垣				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	昭和58年修理。崩落の危険なし。間詰石のヌケ。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

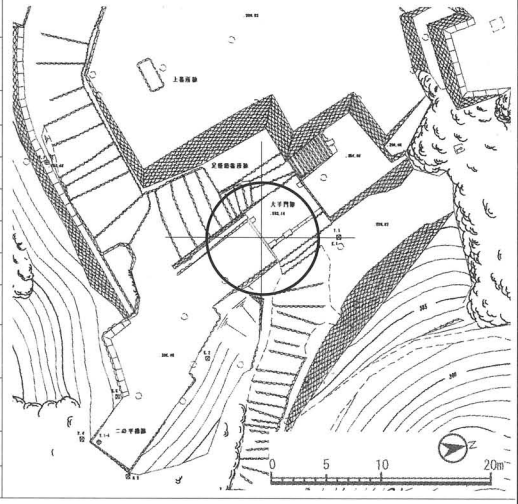


左変曲点

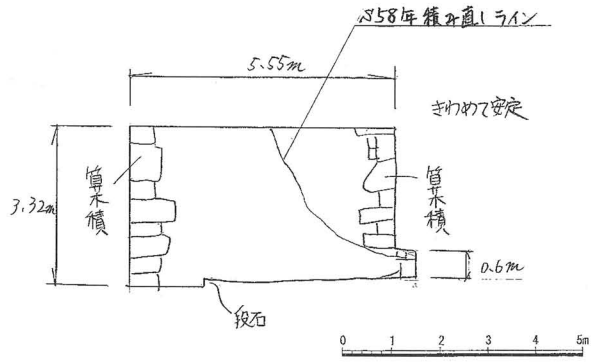
右変曲点

石垣番号	km_005	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	門				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.55		下端 5.90		
石垣高さ	左 3.32		右 0.66		
	最高 3.32		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	昭和58年修理。崩落の危険なし。算木積（高）				

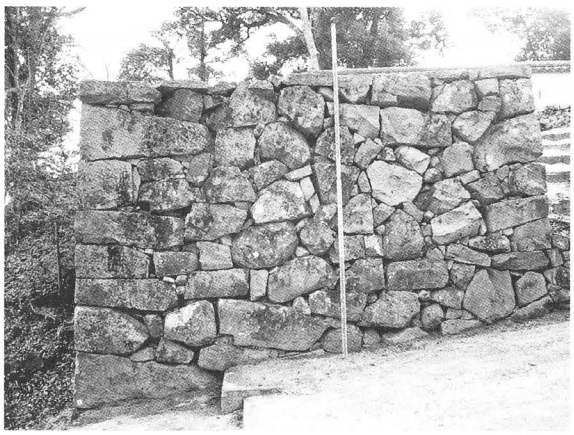
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

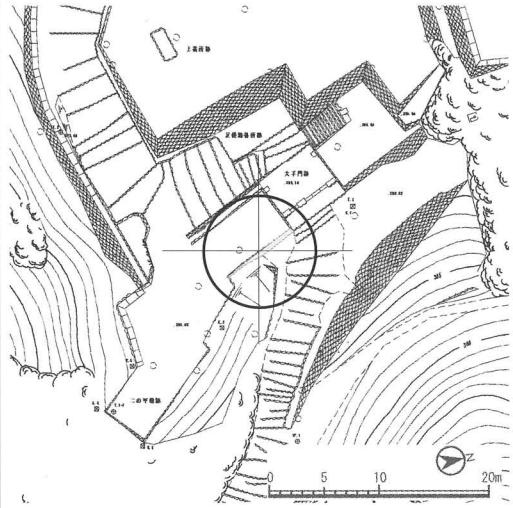


全景写真1



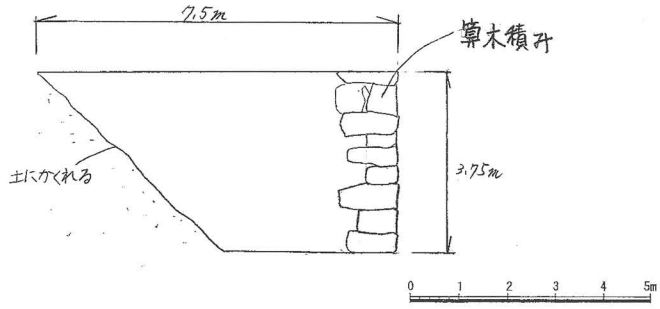
石垣番号	km_006	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	門				
角の形状	右	出角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 7.50		下端 3.60		
石垣高さ	左 0.10		右 3.75		
	最高 3.75		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

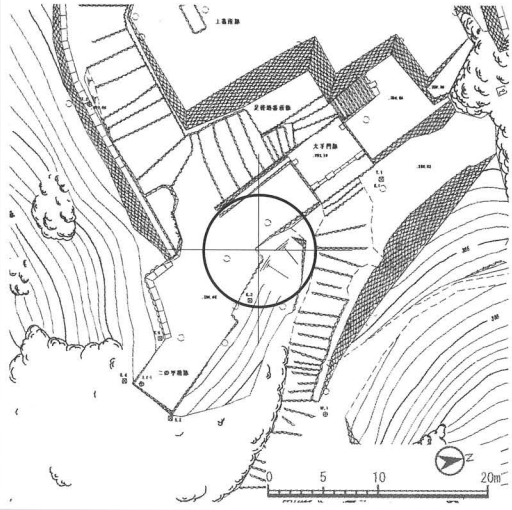
略図



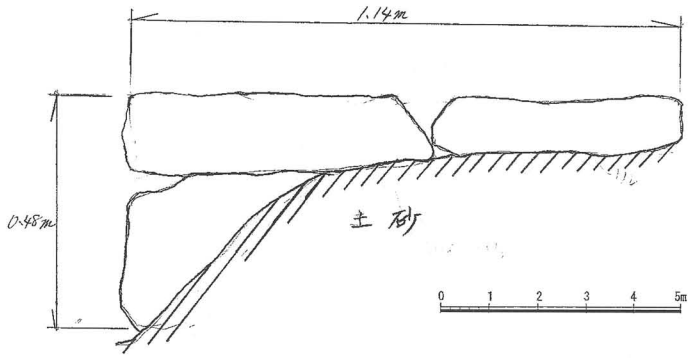
全景写真1

石垣番号	km_007	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.14		下端 1.11		
石垣高さ	左 0.48		右 0.00		
	最高 0.48		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。下は土砂で埋もれる。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



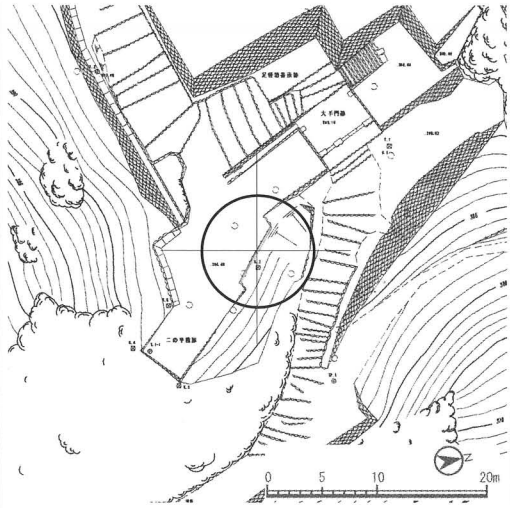
破損の要因と破損状況	略図



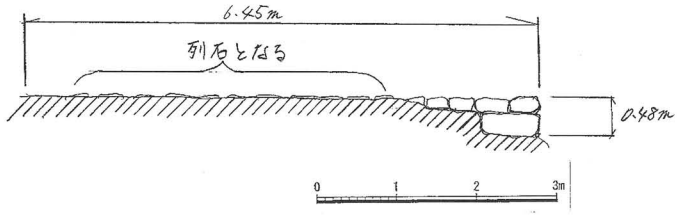
全景写真1

石垣番号	km_008	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 6.45		下端 6.45		
石垣高さ	左 0.00		右 0.48		
	最高 0.48		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	天端しか確認できず				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	土に埋もれているため石積状況不明。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図

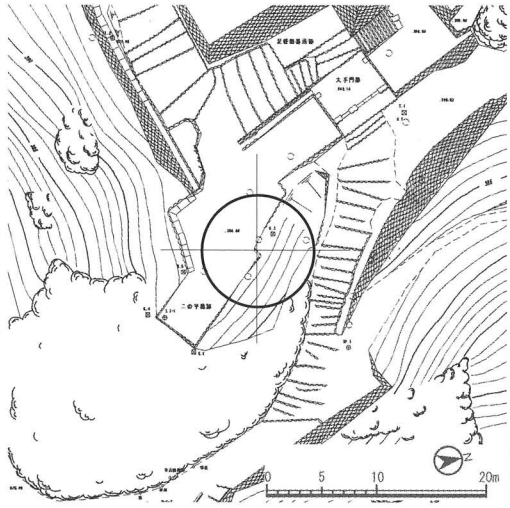


左変曲点

右変曲点

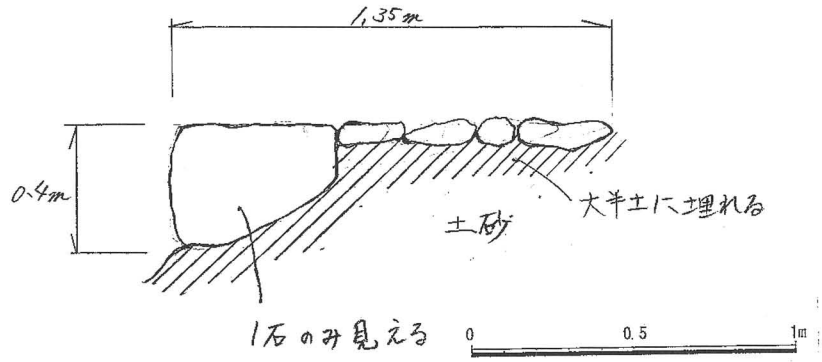
石垣番号	km_009	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 1.35		下端 1.35		
石垣高さ	左 0.40		右 0.00		
	最高 0.40		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土				
石材種別	割石				
石積工法	天端しか確認できず				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	土に埋もれているため石積状況不明。覆土で安定。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

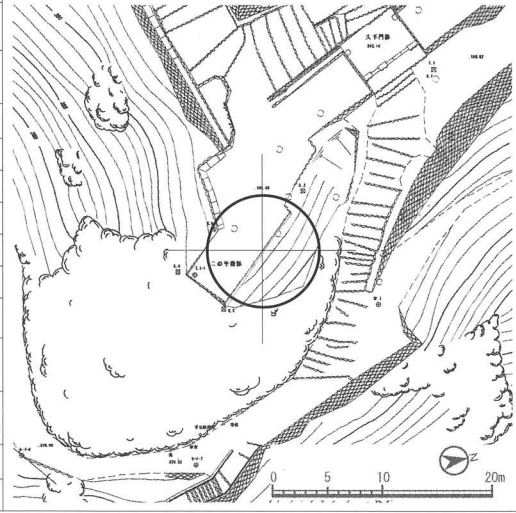
略図



全景写真1

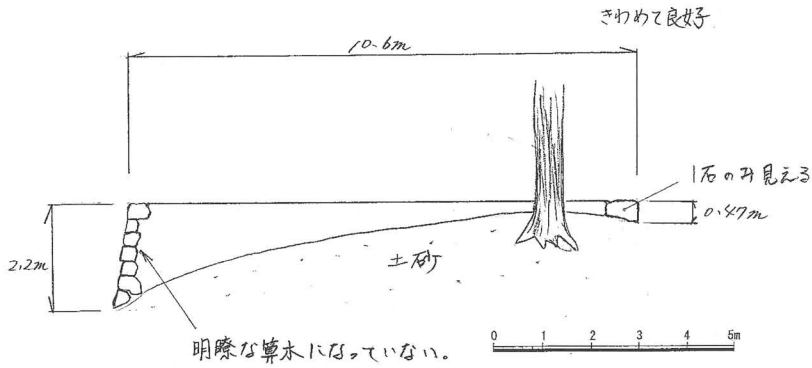
石垣番号	km_010	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 10.6		下端 10.98		
石垣高さ	左 2.20		右 0.47		
	最高 2.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.00		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

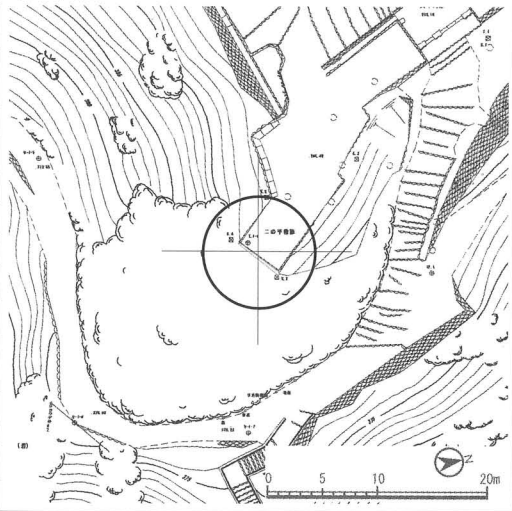


左変曲点

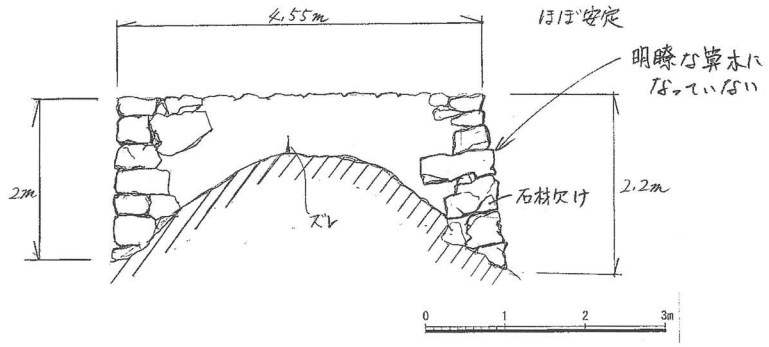
右変曲点

石垣番号	km_011	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 4.55		下端 4.90		
石垣高さ	左 2.00		右 2.20		
	最高 2.20		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.05		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・割レ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（低）				

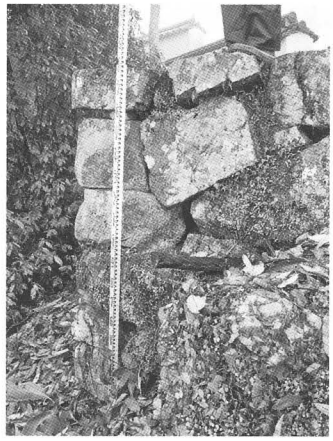
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、ワレがみられる。	



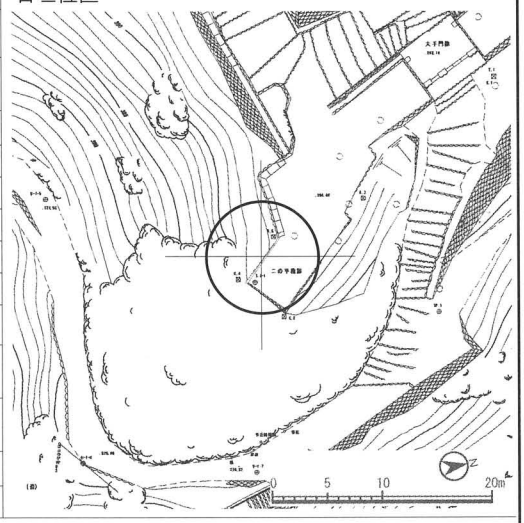
左変曲点



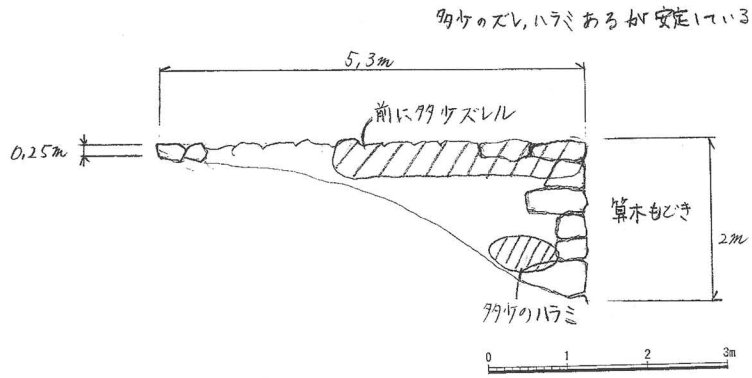
右変曲点

石垣番号	km_012	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	櫓台				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 5.30		下端 5.55		
石垣高さ	左 0.25		右 2.00		
	最高 2.00		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.05		
	最高地点 0.05				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（低）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

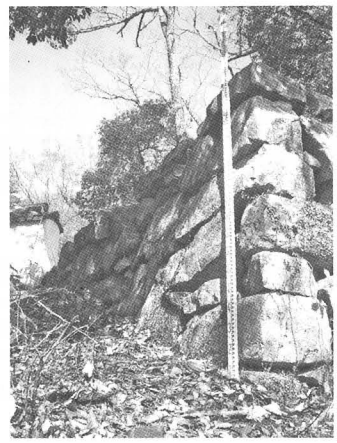


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミがみられる。	



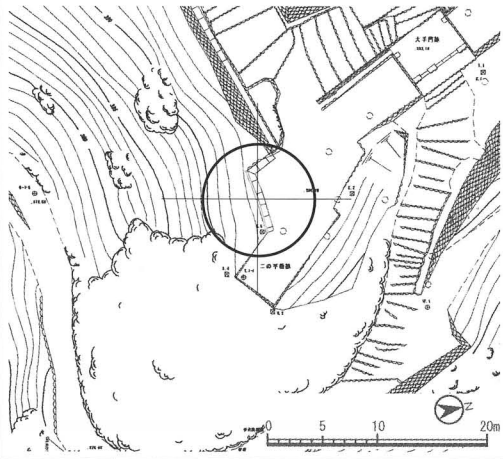
左変曲点

右変曲点

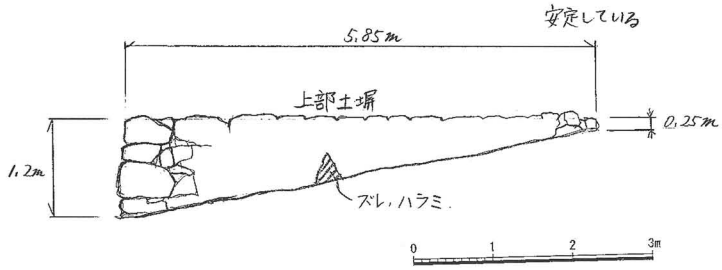


石垣番号	km_013	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.85		下端 6.00		
石垣高さ	左 1.20		右 0.25		
	最高 1.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.15		右 0.00		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ・ズレ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



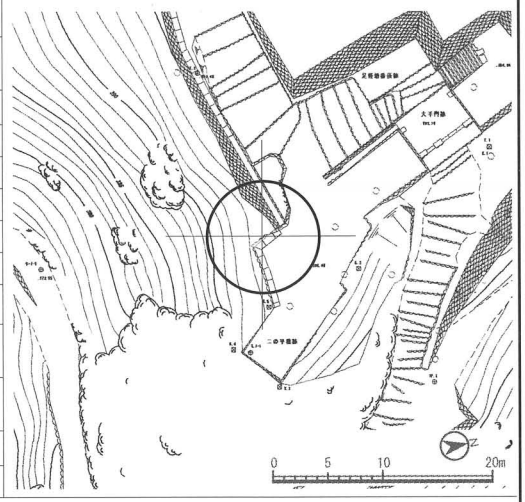
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ズレ、小ハラミがみられる。	



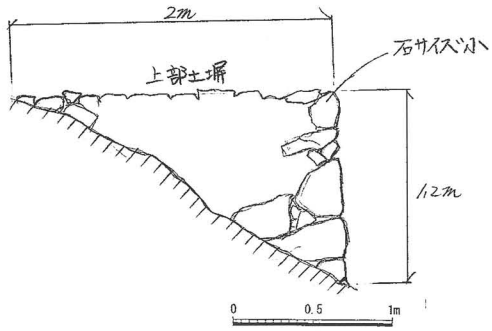
左変曲点

右変曲点

石垣番号	km_014	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	郭			石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）	
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 2.00		下端 2.40		
石垣高さ	左 0.00		右 1.20		
	最高 1.20		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				



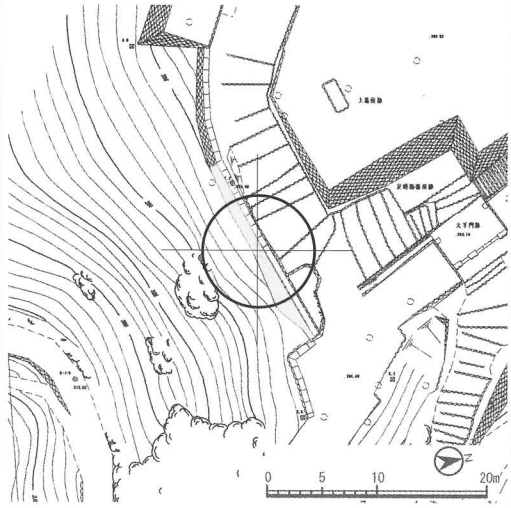
破損の要因と破損状況	略図



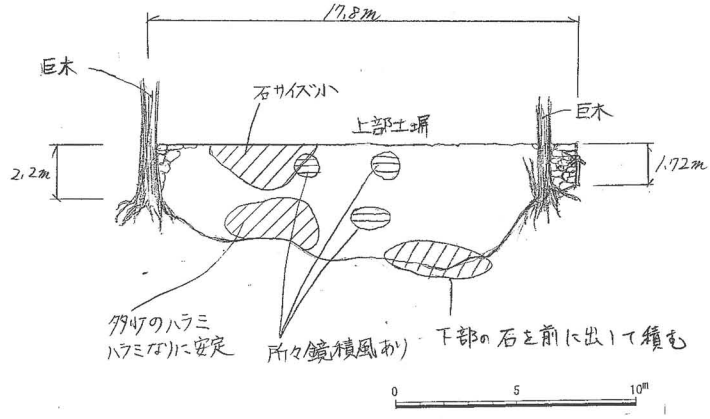
全景写真1

石垣番号	km_015	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 17.8		下端 17.8		
石垣高さ	左 2.20		右 1.72		
	最高 4.04		最高点位置 右 5.05		
石垣勾配	左 0.40		右 0.32		
	最高地点 0.40				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	現在は崩落の危険なし。木の影響でハラミ出し。急斜面のため裾に台石を敷く。鏡積				

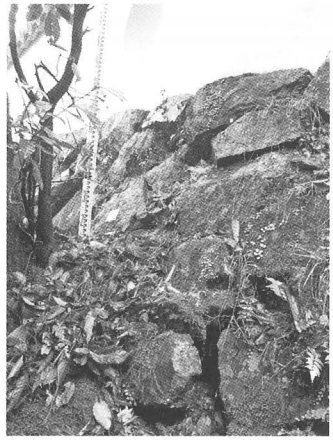
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



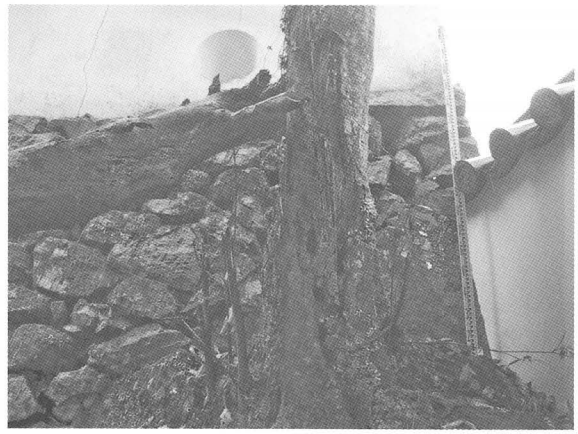
破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	



左変曲点

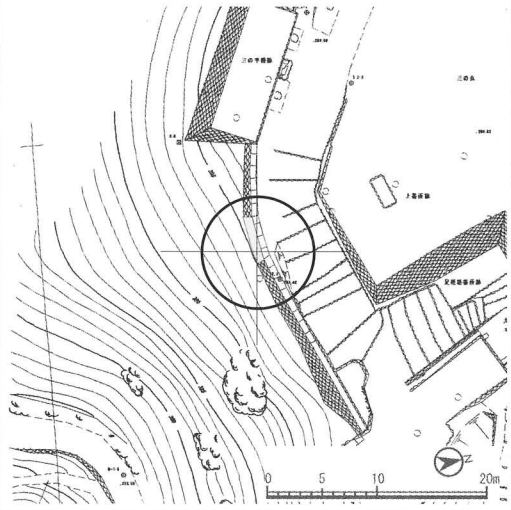


右変曲点



石垣番号	km_016	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.40		下端 6.40		
石垣高さ	左 2.20		右 2.20		
	最高 2.20		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.40		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・小ハラミ・ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	B				
特記事項	崩落の危険なし。隅角部で巨木の根が石垣を抱く				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

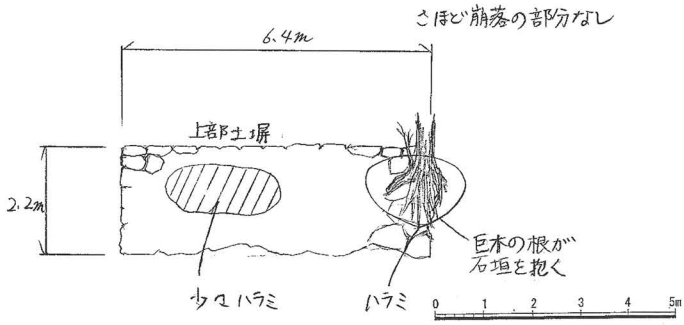


破損の要因と破損状況

・石垣面の樹木の影響などにより、ハラミがみられる。

・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。

略図

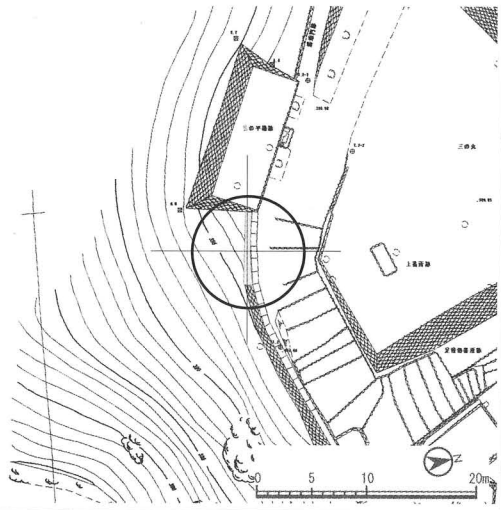


左変曲点

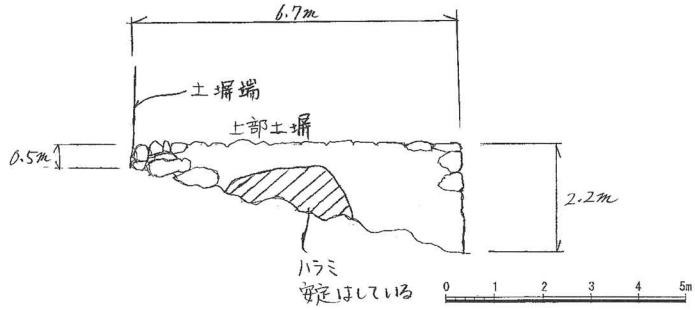
右変曲点

石垣番号	km_017	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 6.70		下端 7.10		
石垣高さ	左 0.50		右 2.20		
	最高 2.20		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.10		右 0.20		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・斜面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

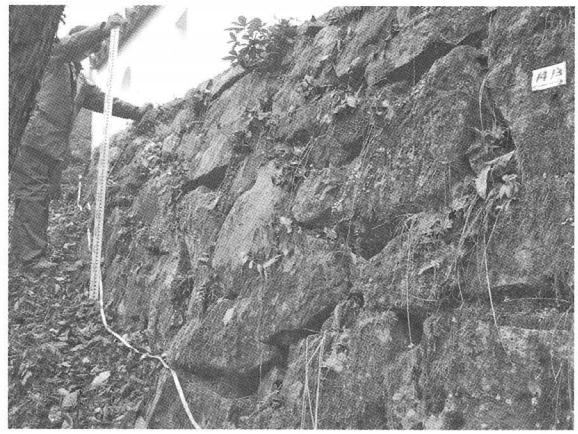


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、小ハラミがみられる。	



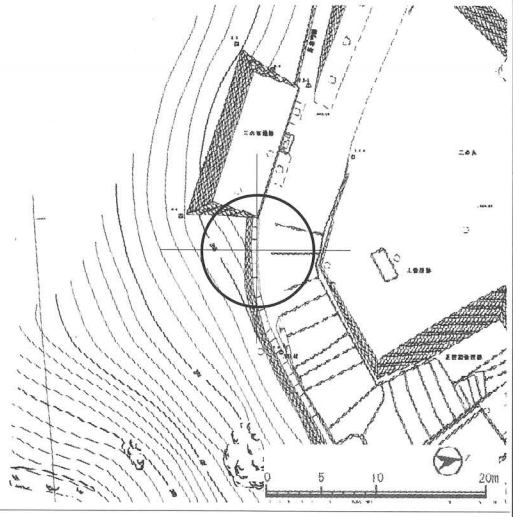
左変曲点

右変曲点



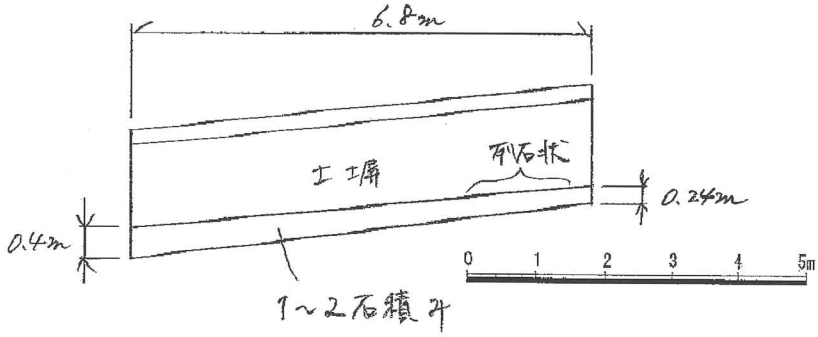
石垣番号	km_018	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	すり付け			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 6.80		下端 6.80		
石垣高さ	左 0.40		右 0.24		
	最高 0.40		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。右端は巨石の石列				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

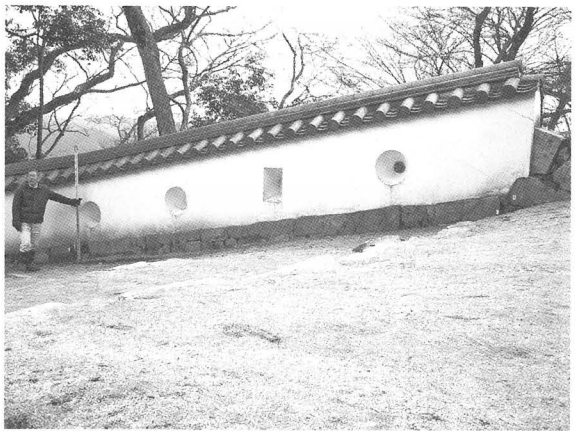


破損の要因と破損状況

略図

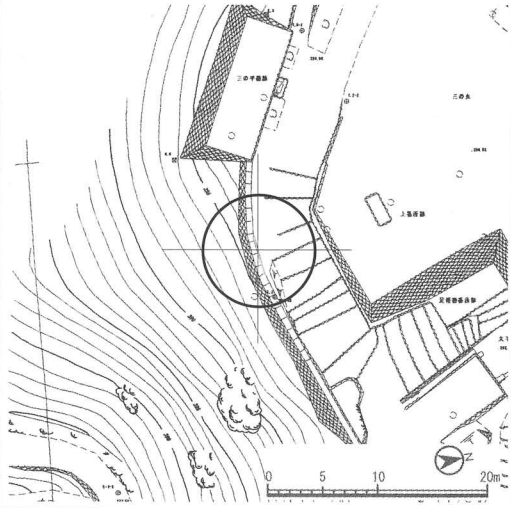


全景写真1



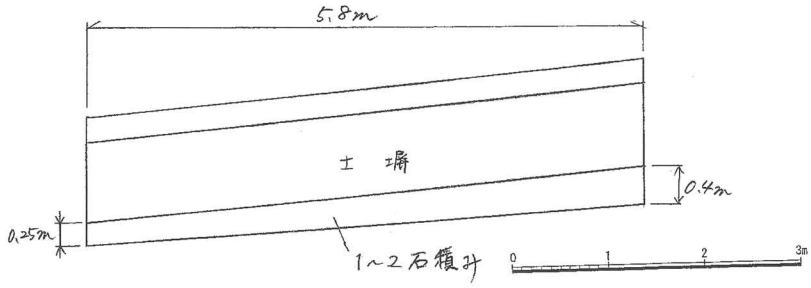
石垣番号	km_019	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	入角			
	左	入角			
石垣延長	天端 5.80		下端 5.80		
石垣高さ	左 0.25		右 0.40		
	最高 0.40		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

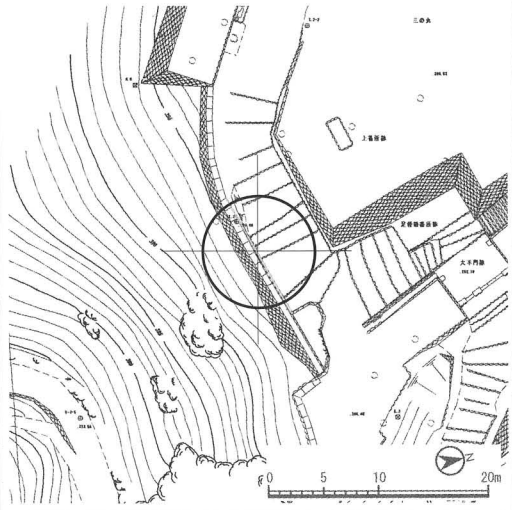


左変曲点

右変曲点

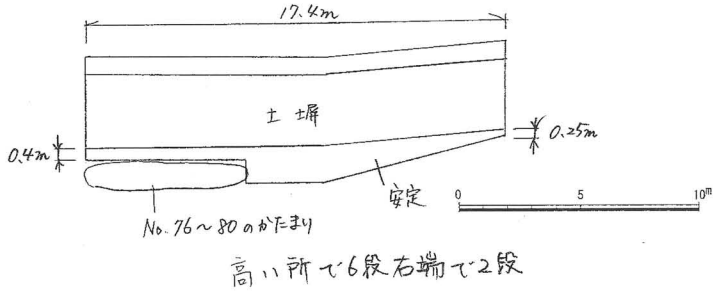
石垣番号	km_020	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 17.4		下端 17.4		
石垣高さ	左 0.40		右 0.25		
	最高 0.87		最高点位置 左 8.0		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.10				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。小石材。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図

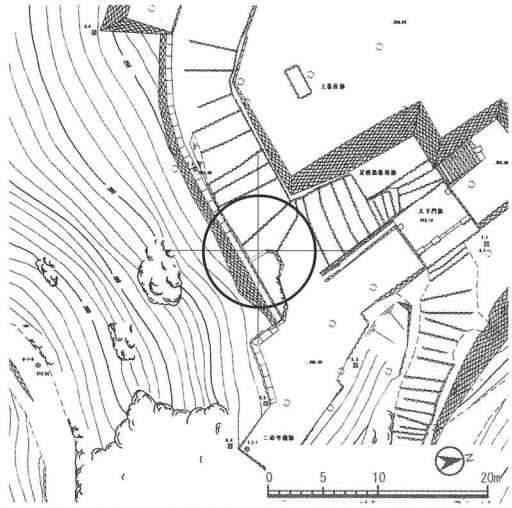


左変曲点

右変曲点

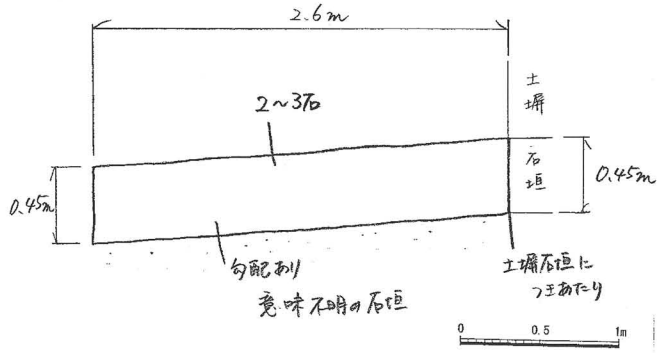
石垣番号	km_021	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 2.60		下端 2.60		
石垣高さ	左 0.45		右 0.45		
	最高 0.45	最高点位置			
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石・野面石				
石積工法	その他				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

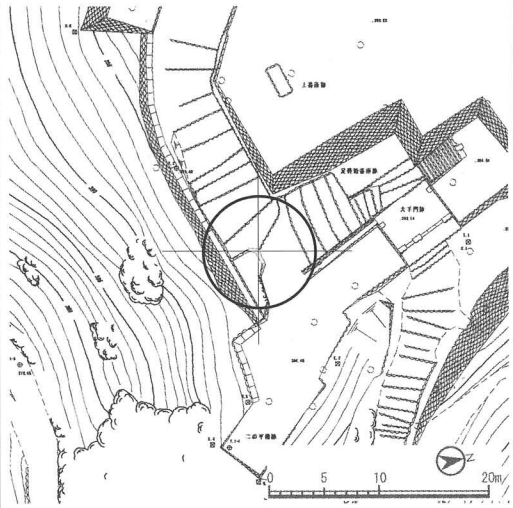
略図



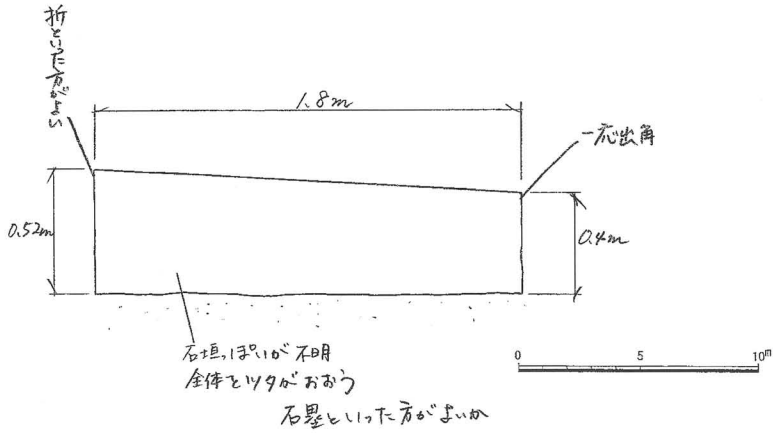
全景写真1

石垣番号	km_022	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	その他			
	左	その他			
石垣延長	天端 1.80		下端 1.80		
石垣高さ	左 0.52		右 0.40		
	最高 0.82		最高点位置 左 0.80		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土				
石材種別	野面石・その他				
石積工法	その他				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



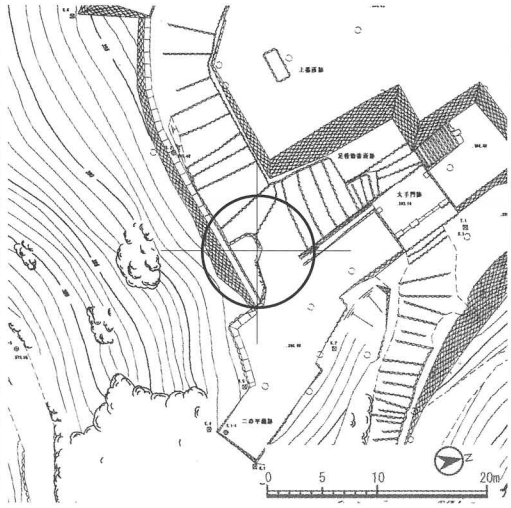
破損の要因と破損状況	略図



全景写真1

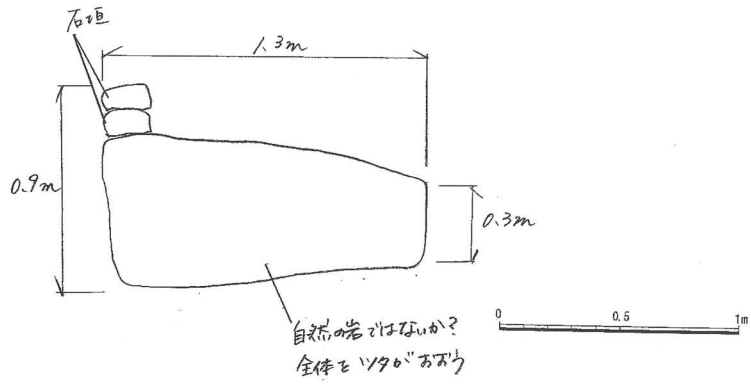
石垣番号	km_023	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	その他			
	左	その他			
石垣延長	天端 1.30		下端 1.30		
石垣高さ	左 0.90		右 0.30		
	最高 0.90		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	野面石・その他				
石積工法	その他				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。自然岩の上に積んでいるようでもある				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

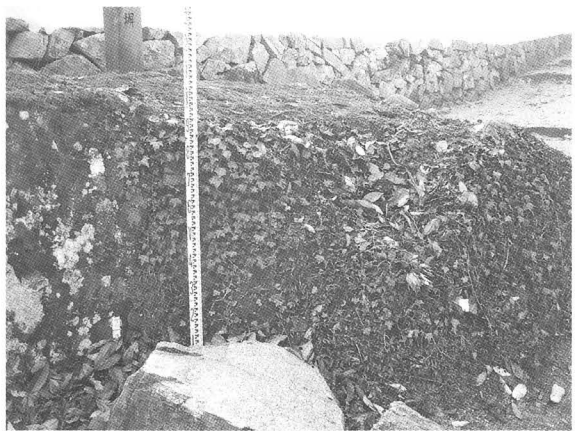


破損の要因と破損状況

略図

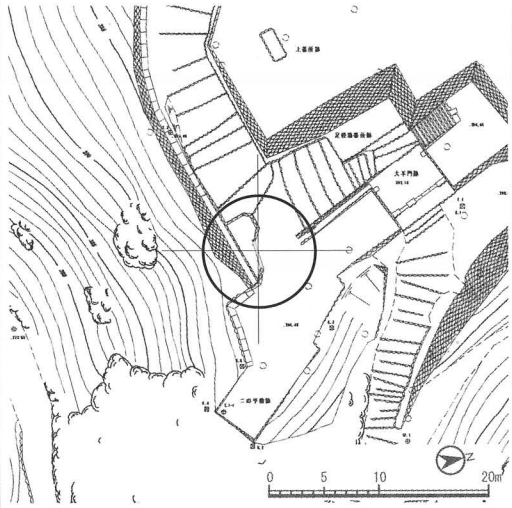


全景写真1

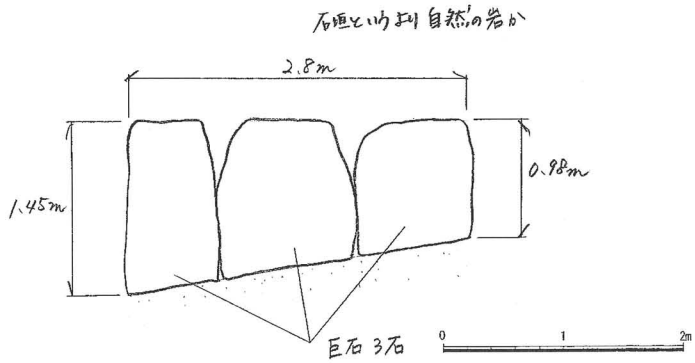


石垣番号	km_024	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	折(入角)			
	左	折			
石垣延長	天端 2.80		下端 2.85		
石垣高さ	左 1.45		右 0.98		
	最高 1.45		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.00		右 0.00		
	最高地点 0.00				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	野面石				
石積工法	その他				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。鉢巻き状の石。自然岩か？				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



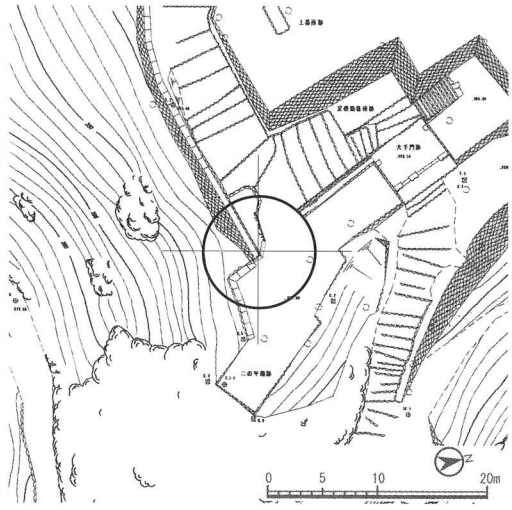
破損の要因と破損状況	略図

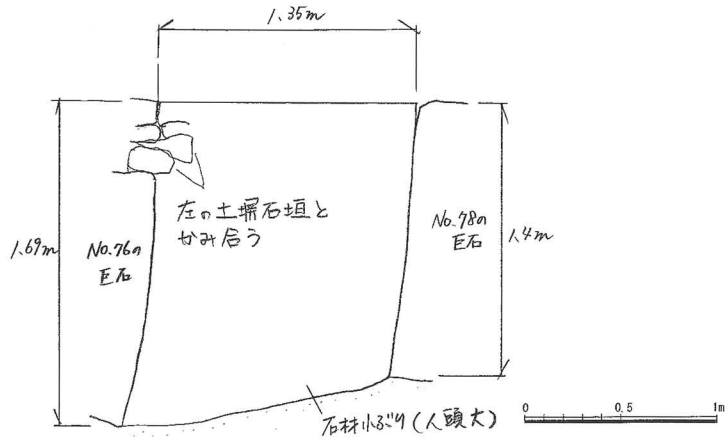


全景写真1

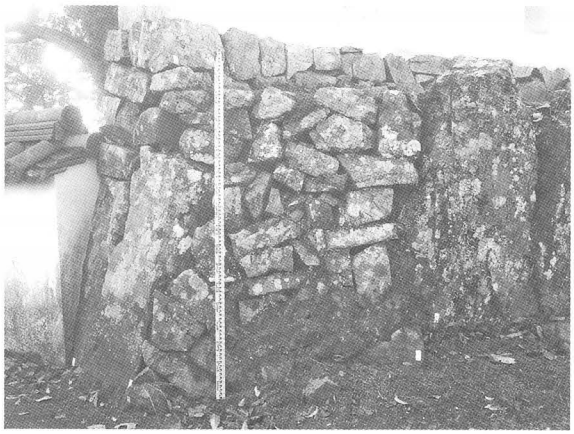
石垣番号	km_025	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	その他				
角の形状	右	折			
	左	折			
石垣延長	天端 1.35		下端 1.55		
石垣高さ	左 1.69		右 1.40		
	最高 1.69		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.25		右 0.30		
	最高地点 0.25				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	野面石				
石積工法	その他				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



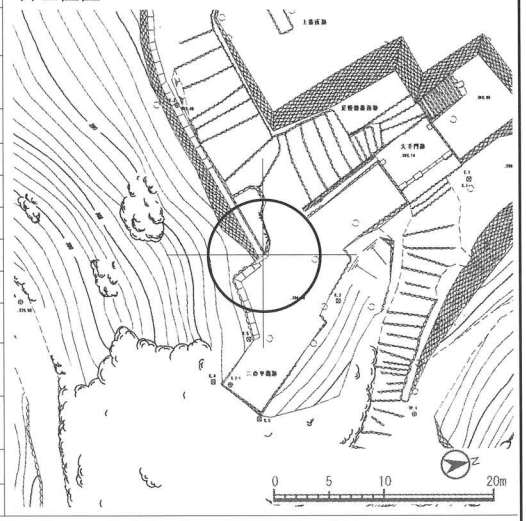
破損の要因と破損状況	略図
	

全景写真1

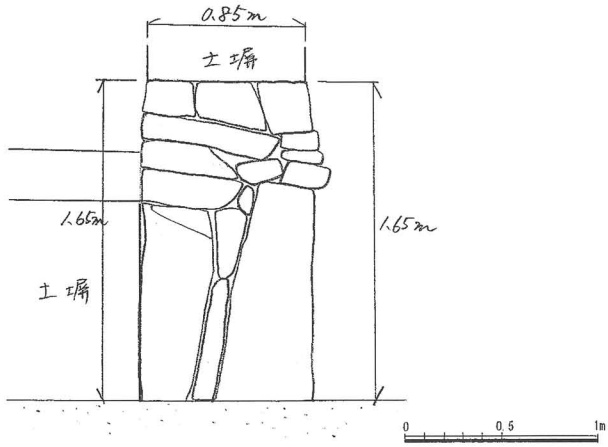


石垣番号	km_026	地区名	小松山城跡	曲輪名	大手御門脇曲輪
石垣部位	郭・その他				
角の形状	右	出角			
	左	出角			
石垣延長	天端 0.85		下端 0.90		
石垣高さ	左 1.65		右 1.65		
	最高 1.65		最高点位置		
石垣勾配	左 0.25		右 0.25		
	最高地点 0.25				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。大石縦使い。				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



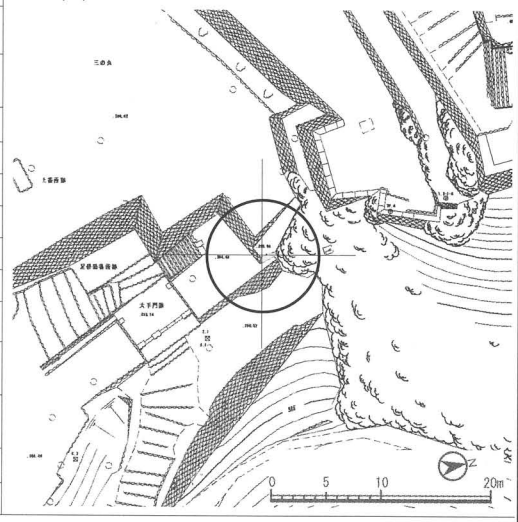
破損の要因と破損状況	略図



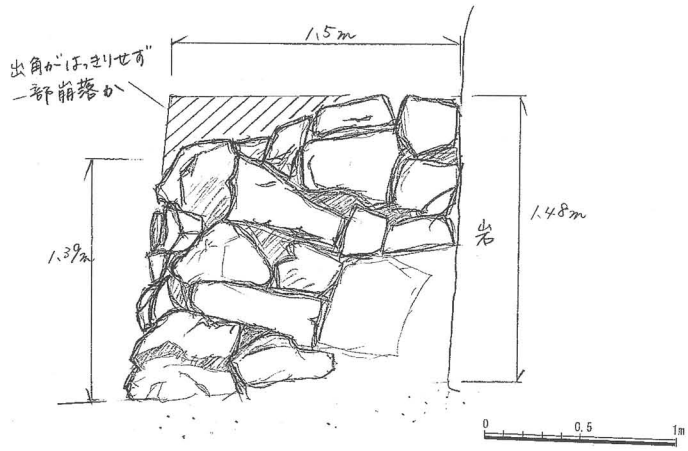
全景写真1

石垣番号	km_027	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	門				
角の形状	右	すり付け・岩にすりつけ			
	左	出角・出丸角			
石垣延長	天端 1.50		下端 1.60		
石垣高さ	左 1.39		右 1.48		
	最高 1.48		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.35		右 0.15		
	最高地点 0.15				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・部分崩壊か				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。天端出角崩落か。角が明瞭でない。				

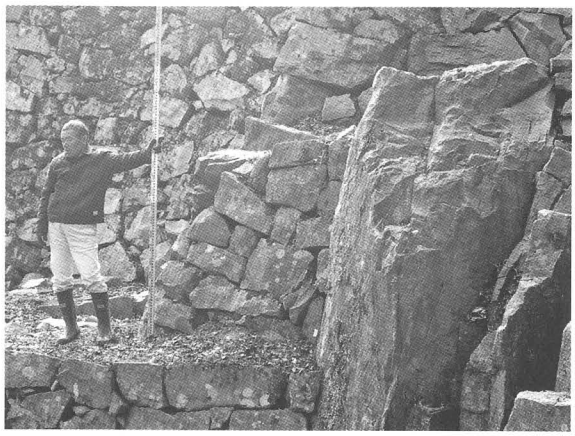
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。	



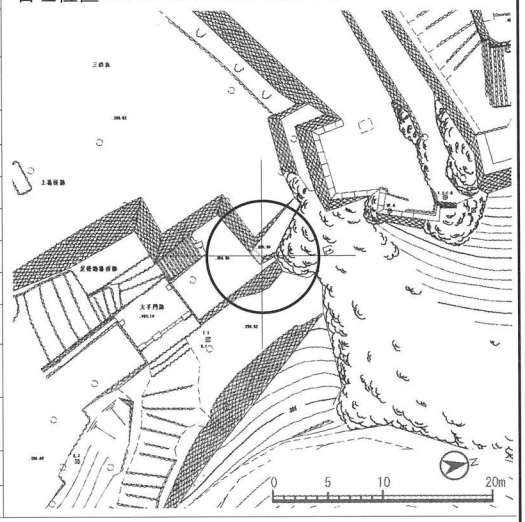
全景写真1



全景写真2

石垣番号	km_028	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角・出丸角			
	左	すり付け			
石垣延長	天端 1.40		下端 1.40		
石垣高さ	左 1.78		右 1.39		
	最高 1.78		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.20		右 0.35		
	最高地点 0.20				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	部分崩壊か				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。天端出角崩落か。角が明瞭でない。				

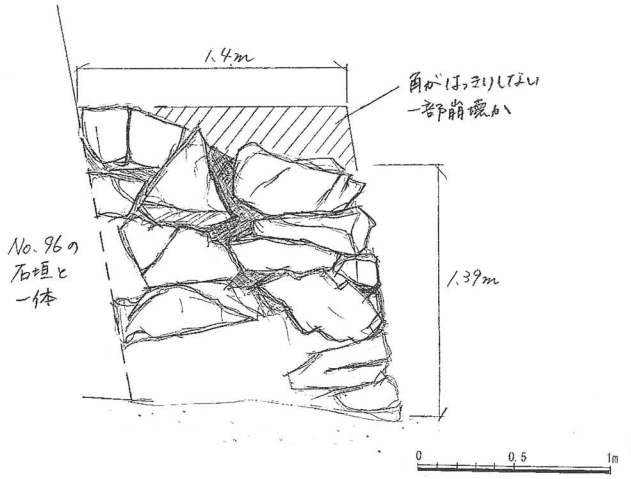
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



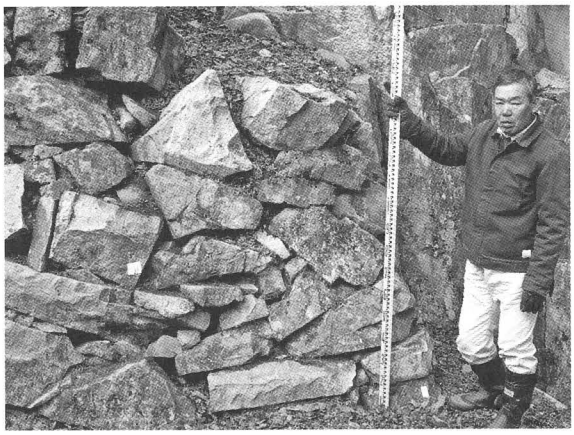
破損の要因と破損状況

・施工法等構造上の問題などにより、部分崩壊がみられる。

略図



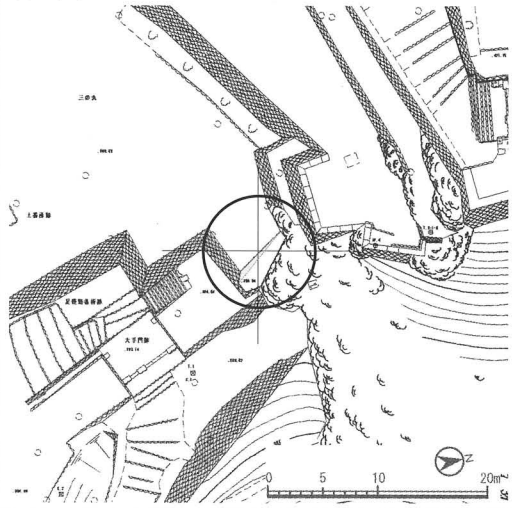
全景写真1



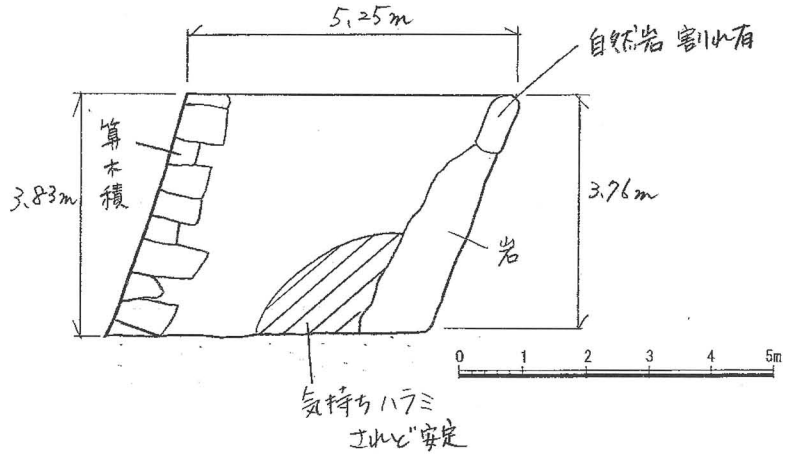
全景写真2

石垣番号	km_029	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	すり付け			
	左	出角			
石垣延長	天端 5.25		下端 4.40		
石垣高さ	左 3.83		右 3.76		
	最高 3.83		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.35		右 0.50		
	最高地点 0.35				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・小ハラミ				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。露岩へのすり付け。算木積（高）				

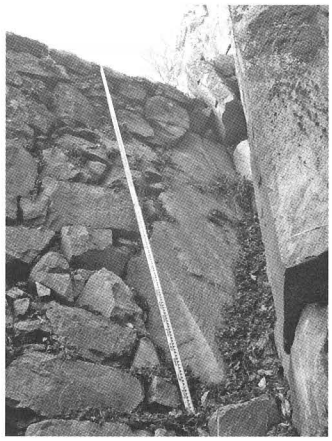
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図
・露岩と築石面の不整合などにより、小ハラミがみられる。	



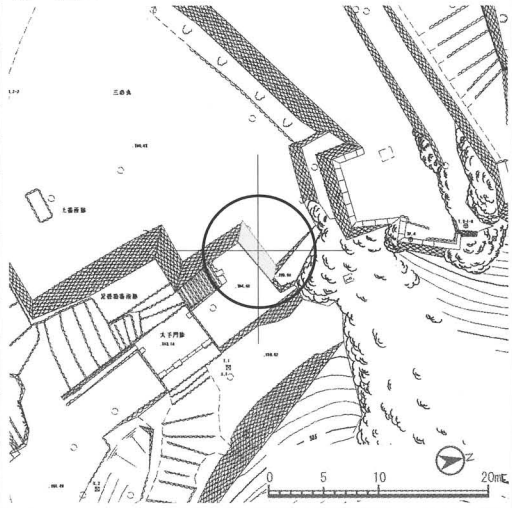
右変曲点



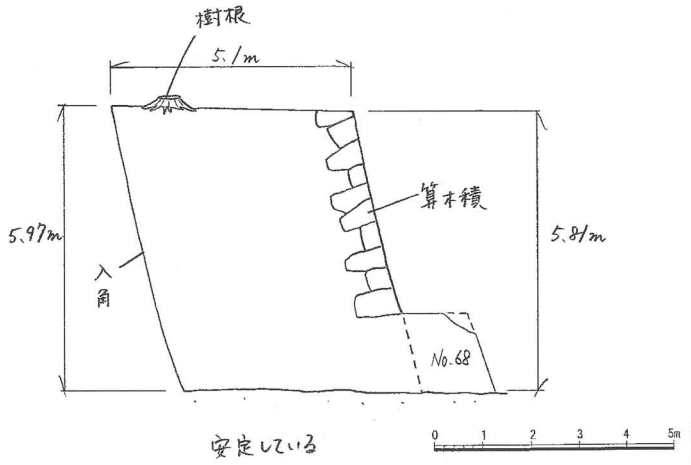
全景写真1

石垣番号	km_030	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 5.10		下端 4.95		
石垣高さ	左 5.97		右 5.81		
	最高 5.97		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.25		右 0.22		
	最高地点 0.25				
地盤状況	土・平坦面				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

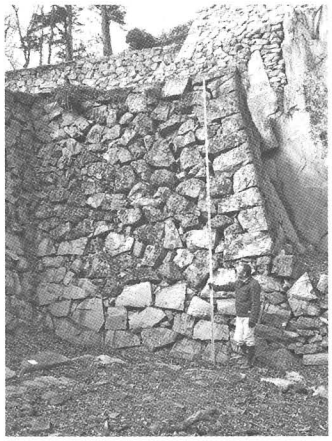
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況	略図



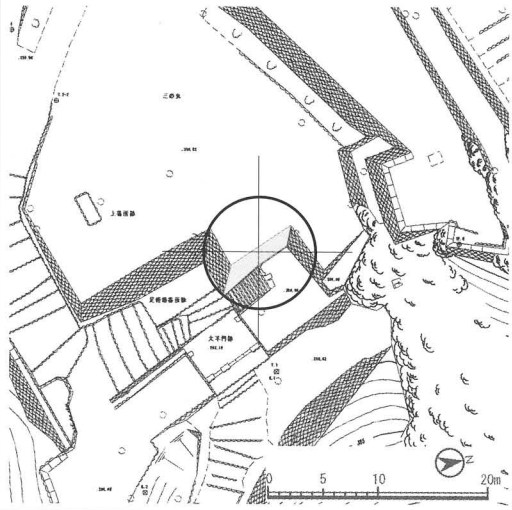
全景写真1



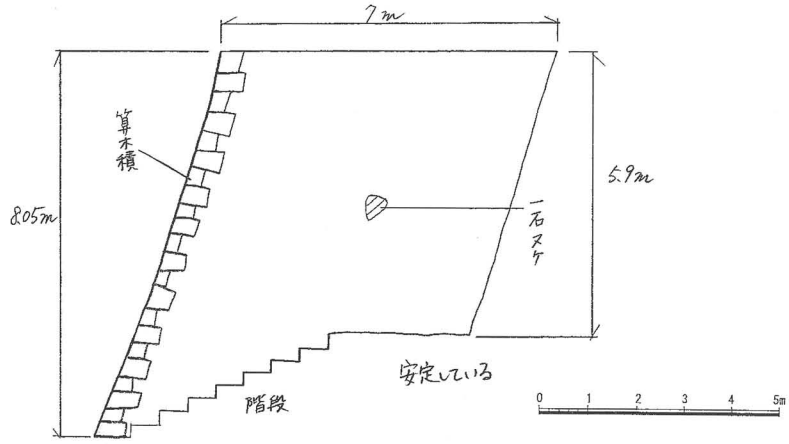
全景写真2

石垣番号	km_031	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 7.00		下端 8.20		
石垣高さ	左 8.05		右 5.90		
	最高 8.05		最高点位置 左		
石垣勾配	左 0.32		右 0.30		
	最高地点 0.32				
地盤状況	土・石段				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好・ヌケ(1石)				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。積石1石ヌケ。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

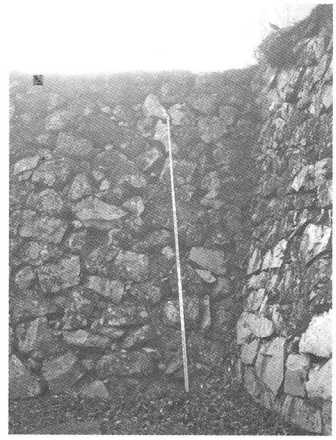


破損の要因と破損状況	略図
・施工法等構造上の問題などにより、ヌケがみられる。	



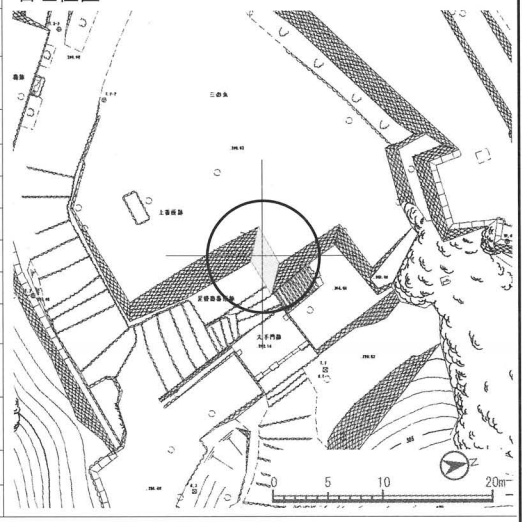
左変曲点

右変曲点



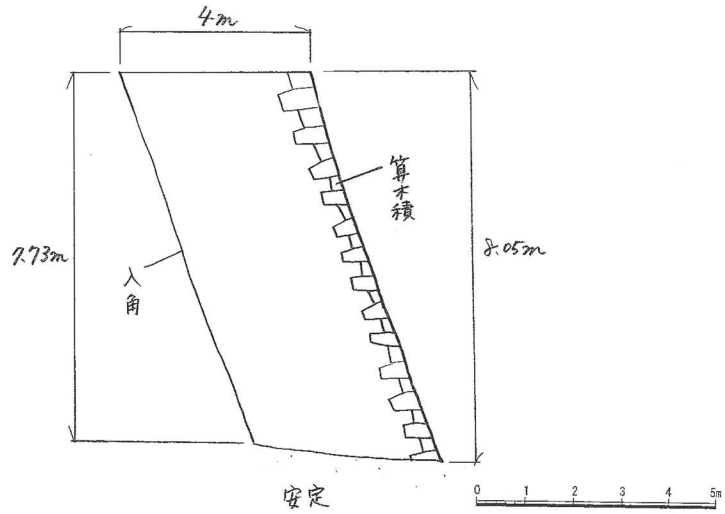
石垣番号	km_032	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	出角			
	左	入角			
石垣延長	天端 4.00		下端 3.40		
石垣高さ	左 7.73		右 8.05		
	最高 8.05		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.35		右 0.30		
	最高地点 0.30				
地盤状況	雨溝				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）

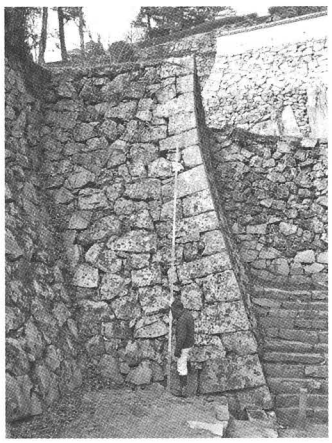


破損の要因と破損状況

略図



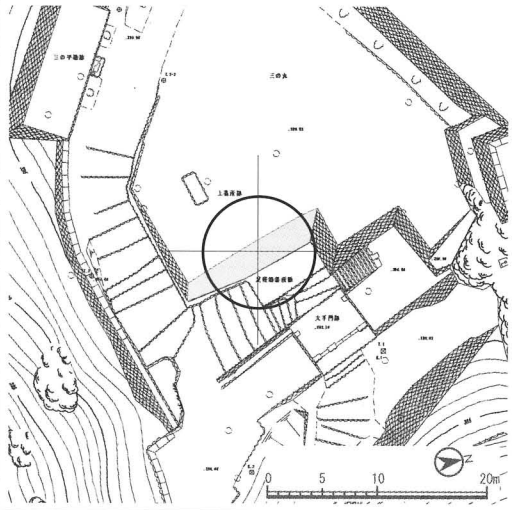
全景写真１



全景写真２

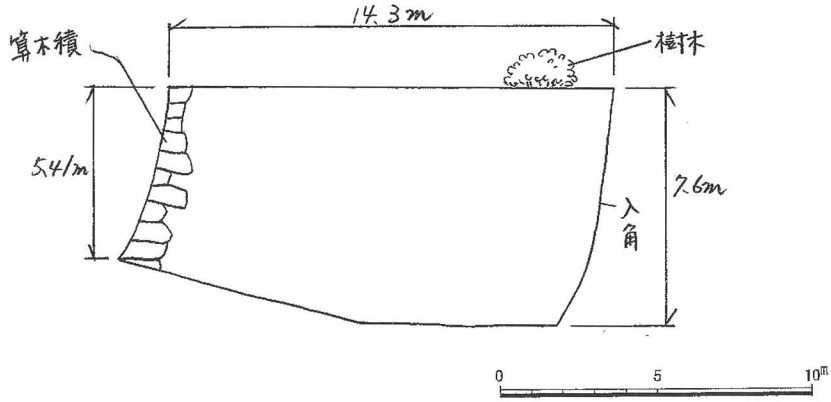
石垣番号	km_033	地区名	小松山城跡	曲輪名	三の丸
石垣部位	郭				
角の形状	右	入角			
	左	出角			
石垣延長	天端 14.30		下端 13.30		
石垣高さ	左 5.41		右 7.60		
	最高 7.60		最高点位置 右		
石垣勾配	左 0.30		右 0.42		
	最高地点 0.42				
地盤状況	雨溝				
石材種別	割石				
石積工法	打込ハギ・乱積				
石垣現状	良好				
構築年代	Ⅲ期				
危険度	C				
特記事項	崩落の危険なし。算木積（高）				

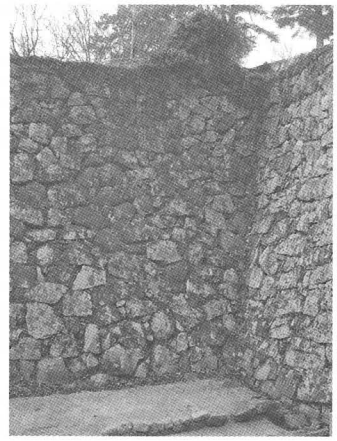
石垣位置（該当石垣は円内中心部に在する）



破損の要因と破損状況

略図



左変曲点

右変曲点